



クラブを成功に導く リーダーシップ

会長編

2019 - 22年度





「クラブを成功に導くリーダーシップ：会長編」（2018年版）は、2019-20年度、2020-21年度、2021-22年度のクラブ会長用です。この手引きに収められた情報は、ロータリーの定款と方針文書、グレートブリテンおよびアイルランド内国際ロータリー（RIBI）クラブ役員向けのRIBI定款に基づいています。詳しい方針については、これらの文書を直接ご参照ください。定款と方針文書に変更が加えられた場合、その変更が優先されます。


目次

はじめに

クラブ会長の仕事

1 年度計画を立てる	1
戦略計画	2
年次目標の設定	2
目標の評価	3
考えてみよう	4
2 会員を導くリーダーシップ	7
リーダーシップチームとの協力	8
会員の教育	10
モチベーションと表彰	10
考えてみよう	12
補遺	
1. クラブ委員会構成の例	13
2. ロータリーの研修行事	15
3 会合の運営	19
クラブ管理運営委員会	20
活気あるクラブ体験を作り出すために	20
重要な案件は「クラブ協議会」で	22
ガバナー訪問に備える	22
考えてみよう	23
4 クラブの運営	25
ロータリークラブの基準	25
クラブの定款と細則	26
ロータリーのオンラインツール	27
報告義務	28
財務管理	28
リスク管理	31
地区との協力	31
考えてみよう	32
補遺	
3. ロータリーのオンラインツール	33

5 会員基盤の強化	37
クラブ会員増強委員会	38
まずはクラブの現状把握から	38
多様性	39
入会への魅力を高める	39
入会候補者情報の管理	39
会員の積極的参加	40
学友との関係	41
考えてみよう	42
補遺	
4. クラブ会員増強委員会チェックリスト	43
6 ロータリーの広報	45
クラブ公共イメージ委員会	46
ロータリーについて尋ねられたら	47
ソーシャルメディアを通じた働きかけ	50
ロータリーの標章を正しく使う	50
考えてみよう	52
7 ロータリー財団	55
ロータリー財団委員会	56
地区からの支援	56
財団の資金モデル	57
考えてみよう	59
8 プロジェクトをはじめよう	61
奉仕プロジェクト委員会	62
ロータリーのプログラムを利用する	62
ロータリーの補助金とプログラム	63
考えてみよう	65
補遺	
5. ロータリーにおける活動の機会	66
6. 青少年プログラムにおけるリスク管理	67



ロータリーと共に

“ちから”をつなごう

地域社会で活動する世界中のロータリー会員の合言葉は、「もっとよいことをしよう」。私たちは、地元で持続的な変化をもたらすために、人びとを結びつけることに力を注いでいます。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、地域社会をもっと良くするために“ちから”をつなぐこと。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

Rotary



世界を変える行動人

はじめに



クラブ会長への選出、おめでとうございます。会長エレクト研修セミナー（PETS）と地区研修・協議会への出席に先立ち、この手引きで会長の役割と責務を理解しておきましょう。[ラーニングセンター](#)のクラブ会長の基本情報コースも準備に役立ちます。

ロータリーでは、会長が利用できる資料や情報、リソースを数多くご用意しています。ロータリーのオンラインシステム、[My ROTARY](#)では、ロータリーの最新情報が満載されており、参考資料をダウンロードしたり、クラブデータを閲覧したりできます。また、[補助金センター](#)では、ロータリー補助金の申請や管理を行うことができます。また、ロータリー職員からの支援を得ることもできます。[My ROTARY](#)を利用するには、[アカウント](#)を作成してください。

この手引きを含むロータリーの研修資料についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

国際ロータリー 研修・開発チーム

Eメール:learn@rotary.org

電話番号:+1-847-866-3000

もっと効果的にロータリーの活動を
をこなしたいあなたへ

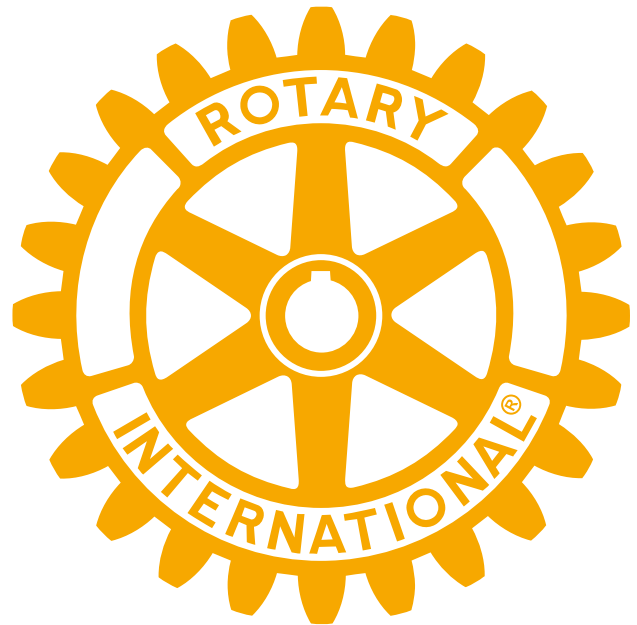


ラーニングセンターなら、いつでも
どこでも研修が受けられます



WWW.ROTARY.ORG/MYROTARY/JA

会長の 仕事



クラブリーダーとして会員のモチベーションと意欲を喚起し、地域社会で積極的に奉仕活動を実施して、クラブの存在感を高めましょう。

会長エレクトとして

クラブの現状に関しては現会長と相談する。

理事会のメンバーとなる。

次年度の委員長および研修リーダーを任命する。*

クラブ予算の作成を監督する。

次期クラブ役員に地区研修・協議会への出席を奨励する。

My ROTARYのアカウントをつくる。

会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会、地区大会に出席する。

My ROTARYから開くことのできるロータリークラブ・セントラルでクラブの目標を確認し、目標に向けた活動状況を確認する。

国際ロータリーからの重要な通知を確実に受け取れるよう、My ROTARYを通じてクラブ役員を報告する。

*「ロータリー章典」にクラブ会長の任務が記載されています。

会長として

各委員会の目標を立てる。クラブ委員会と地区委員会とのコミュニケーションを奨励する。委員会の活動、目標、支出を確認し、決定に参加する。*

クラブ予算の作成を監督し、(年次財務評価を含む)適切な会計慣行が行われるようにする。*

会員情報とクラブデータを更新するために、幹事と会計がMy ROTARYのアカウントを作ったことを確認する。

クラブと地区の事柄について、ガバナーおよびガバナー補佐と協力する。*

ガバナーと国際ロータリーからの重要な情報をクラブ会員に伝える。*

ガバナー公式訪問に備える。

ロータリー青少年保護の方針および「青少年と接する際の行動規範に関する声明」に従い、青少年交換プログラムの参加要件を順守する。

毎月の理事会会合を計画、実施する。*

興味深く充実した例会を企画、実施する。また、会員が楽しめる親睦行事を開く。*

必要に応じて、会員のための包括的研修が行われるようにする。*

ロータリークラブ・セントラルで立てた目標の達成のために、会員の参加を促す。ロータリークラブ・セントラルで立てた目標に向けた進捗を記録、確認する。

地区会合とロータリー国際大会への出席を奨励する。

地区大会に出席する。*

退任前に、クラブに関する年次報告書を作成し、クラブに提出する。*

退任前に後任者との引き継ぎをしっかりと行う。*

今年度と次年度の理事会による合同会合を開く。*

*「ロータリー章典」にクラブ会長の任務が記載されています。



第1章



年度計画を立てる

クラブが何を成し遂げられるかは、会長のリーダーシップにかかっているとんでも過言ではありません。

会長は、多様な会員が親交を深め、各自の職業や経験をロータリーで生かせるよう、会員のモチベーションを喚起します。クラブでの活動は多岐にわたります。

世界中のロータリー会員は、ロータリーの基本理念の下に結ばれています。全会員の指針となるこの基本理念をもう一度確認しておきましょう。

2017年に新たに採択された、今後の組織の指針となるロータリーの新しいビジョン声明は、次のようにうたっています。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

会長として目標を設定する際には、このビジョンも考慮に入れましょう。

あなたの役割：クラブの目標設定

クラブのリーダーシップチームと一緒に、次年度以降のクラブの目標を設定しましょう。目標と行動計画を立てる際には「[戦略計画立案ガイド](#)」をぜひご利用ください。

会長エレクトとして	会長として
クラブの戦略計画を立てる。既に戦略計画がある場合には、その内容が現在も有効かつ適切なものであるかどうかを見直し、必要に応じて修正を加える。	戦略計画を実行し、進捗を定期的に確認する。
クラブの長期的目標に沿った年度目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する。	会員の積極的参加を促す。参加へのモチベーションを喚起する。
目標に向けた行動計画を立てる。	活動成果や目標達成をクラブ全員で祝い、会員の功労を称える。
研修に出席し、リーダーシップチームとともにクラブの目標を立てる。	

戦略計画

クラブが将来に「こうありたい」というビジョンを描き、それに沿った目標と行動計画を立てるのが「戦略計画」です。戦略計画とはクラブの長期的な取り組みであり、全会員によるサポートが必要とされます。国際ロータリーは、[ロータリー戦略計画](#)に沿った目標を立てるよう、クラブと地区に奨励しています。

クラブから寄せられた報告によると、戦略計画を立てているクラブのほうが、会員の積極性と維持率、満足度が全体的に高いことが分かっています。また、会員が積極的に参加しているクラブのほうが、目標の達成率が高いことも明らかになっています。「[戦略計画立案ガイド](#)」を活用し、全員でクラブの戦略計画を立て、内容を検討しましょう。

年次目標の設定

クラブの戦略目標に基づいて、年次目標を設定できます。会長エレクト研修セミナー(PETS)の前に、ガバナー補佐と話し合い、過去のクラブの傾向と現在の活動状況を把握してください。[ロータリークラブ・セントラル](#)では、クラブの活動状況に関する過去5年間の実績が分かります。計画を実行するのはリーダーシップチームなので、目標を設定する際には、リーダーシップチームにも必ず相談してください。

目標を設定する際には、会員がクラブの何が好きで、何を变えていきたいと思っているのかを調べます。[会員増強のための評価ツール](#)の中から会員増強に関するアンケートの見本をご覧ください。アンケートの結果をリーダーシップチームと検討し、行動計画を策定してください。

最大の成果を挙げるには、具体的・測定可能・達成可能・現実的な目標を設定し、達成までの期限を定めます。「新しい会員を増やす」という目標より、「年末までに会員を10%増やす」という目標の方が効果的です。

ロータリークラブ・セントラルで会員増強・奉仕・財団への寄付の年次目標を設定し、進捗を確認します([ラーニングセンター](#)にある「ロータリークラブ・セントラルのリソース」のコースが役に立ちます)。ロータリークラブ・セントラルの傾向を示したグラフやレポートを利用して達成状況を確認できます。目標を頻繁に見直して、調整が必要かどうか判断します。

以下のクラブ役員は、ロータリークラブ・セントラルで任期内の目標を設定、調整できます。具体的には、就任する前の年からその次の年度までです。

- 会長
- 幹事
- 会計
- 財団委員長
- 会員増強委員長
- 常任事務局職員

ロータリークラブ・セントラルで目標を修正できるのは、指名を受けたクラブリーダーのみですが、全会員がMy ROTARYでクラブの目標達成状況を確認できます。

目標設定後も、所属クラブのリーダーシップチームと協力して達成方法を検討します。所属クラブの行動計画を実施する段階で、会員すべての協力を求めます。

ロータリー賞

ロータリー賞に記載されている目標を参考にして、多くのクラブが活動を強化し、会員の協力を得ています。目標の大半は毎年一貫したものですが、ロータリーの会長が自らのテーマを中心にクラブ活動の重点分野に関する目標を追加することもあります。目標を達成するための期間は、7月1日から翌年6月30日までの1年間です。クラブ役員は、所属クラブの管理システムだけでなくロータリークラブ・セントラル、アイデア応援サイト、ロータリーショーケースといったさまざまなアプリケーションを活用して、受賞に向け実績を記録し、進捗状況を確認できます。

目標の評価

クラブの目標達成に向けた進捗状況を確認する際は、会員と話し合っ効果のある戦略を特定します。その後、話し合いで得られた洞察を活用し、次期会長および会長ノミニ―と共有します。

ガバナー補佐と地区ガバナーがクラブを訪問する際には、長期目標と年次目標について話し合しましょう。

考えてみよう

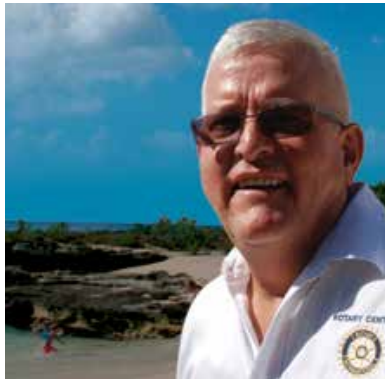
あなたのクラブは、ロータリーのビジョン声明にどれほど沿っていますか。

クラブの戦略計画の中で、クラブに一番大きな影響を与えるのは何だと思いますか。

目標を立てるにあたり、会員にどのように協力してもらいますか。



あなたのクラブは 「元気」ですか？



「元気なクラブづくりのために」の手引きには
以下の内容が紹介されています

- 日本の活気あるクラブの紹介
- アイデア「クラブでやってみよう」
- My ROTARYから利用できるリソース



shop.rotary.org から
ご注文ください

Rotary 

第2章



会員を導く リーダーシップ

クラブ会長の役割は、任期を通じて、ロータリアンが率先して地域の課題や社会問題に取り組むための道筋を示すことにあります。また、ロータリーの国際的な取り組みへの参加を促すことで、クラブのもつ力がさらに強まります。リーダーシップを発揮して、会員の意欲と才能を最大限に引き出しましょう。広報や会員増強などの分野においては、地区リーダーと国際ロータリーからのサポートも活用できます。

あなたの役割：リーダーシップ

会長エレクトとして	会長として
会員の才能・知識・経験に基づいて各委員会の委員長を任命し、My ROTARYに報告する。	クラブと地区リーダーの間で明確なコミュニケーションが行われるようにする。
次年度のリーダーシップチームを編成し、協力態勢を整える。	リーダーシップチームや会員の努力や功績を称える。
地区から得られる支援の種類を特定する。	目標達成に向けた会員のモチベーションを高める。
クラブと委員会の継続性を図る。	全会員の声に耳を傾け、会員のニーズが満たされるようにする。

リーダーシップチームとの協力

クラブのリーダーシップチームには、理事会メンバーに加え、クラブ研修リーダー、会場監督、各委員会の委員長が含まれます。クラブのニーズに合った委員会を設置するようにしましょう。クラブ委員会構成の例（補遺1）をご参照ください。

チームメンバーが次年度の役割に備えられるよう、地区で実施される研修への出席を奨励しましょう（補遺2「ロータリーの研修行事」をご参照ください）。準備の一環として、ラーニングセンターでそれぞれの役割に応じたコースを受講することもできます。成功のためのツールやその他の資料が利用でき、知識を深めるために役立つコースです。

選挙

会長は、就任後の6カ月間に、次年度のクラブ役員と理事の選挙を監督します。理事会は、会長、会長エレクト、幹事、会計、直前会長で構成されます。選出される場合には、副会長も理事会メンバーとなります。理事会の選出手続きについては、クラブの細則を確認してください。クラブ会員としての義務を果たしている人を役員と理事に選ぶべきです。

理事会の役割

会長の重要な役割の一つに、理事会会合の実施があります。この会合では、新会員の入会やクラブの運営方法など、クラブ全体にかかわる決定を行うほか、アイデアを検討し、活動の進捗状況に関する話し合いを行うこともできます。会長として、理事会への期待事項を明確に伝えておき、参加者全員が目標、活動やプロジェクトについて報告し、検討するための時間を必ず設けましょう。

理事会は、クラブ全体にかかわる事柄を管理し、クラブ目標の達成に向けて会長と密に協力します。会長が理事会の定例会合を運営します。推奨ロータリークラブ細則に基づき、理事会には以下の責務があります。

- 各役員と委員会の仕事が滞りなく行われていることを確認する。
- クラブの毎月の財務報告を確認する。
 - クラブの運営と活動に必要な現実的な予算が組まれていることを確認する。
 - 予算に含まれていない全支出項目を承認する。
- 推薦された候補者とその他の入会見込者（入会候補者情報プログラムを通じた候補者を含む）の入会を30日以内に承認または拒否し、推薦者と入会候補者にその決定を通知する（幹事が推薦者に連絡）。
- クラブ細則に含まれるクラブの方針に従ってクラブ運営が行われていることを確認し、現在のクラブのニーズに沿わない方針を修正する。
- 新会員と現会員にとって、柔軟性があり魅力のあるクラブとなるための新しいアイデアの導入を検討する。
- クラブの活動目標を立てるために、地元地域や海外のニーズを調べる。

幹事: 日々の運営業務の多くは幹事が担当します。幹事の責務についてはラーニングセンターのクラブ幹事の基本情報コースをご参照ください。

幹事や会員増強委員長とともに、クラブの会員増強活動の進展をロータリークラブ・セントラルで確認しましょう。年度末には、幹事と協力して1年間の活動成果や目標の達成状況をロータリークラブ・セントラルに入力してください。

委員会構成を変更するためにクラブ細則を修正することについては、第4章をご参照ください。

会計: 会計とともに、クラブの資金、取引や報告が正しく行われていることを確認しましょう。会計は、クラブの財務管理を担当し、予算作成にも携わります。会計の責務についてはラーニングセンターのクラブ会計の基本情報コースをご参照ください。

会場監督: 会場監督の責務は、例会やその他の会合が滞りなく行われるよう監督することです（会場内の案内やゲストの歓迎など）。

クラブの委員会

クラブの各委員会は、それぞれ担当する分野について年度目標を立て、その達成に向けて活動します。会長は、全委員会の活動を監督します。

以下は、クラブで設置が推奨されている委員会です。

- 管理運営委員会 (第3章)
- 会員増強委員会 (第5章)
- 公共イメージ委員会 (第6章)
- ロータリー財団委員会 (第7章)
- 奉仕プロジェクト委員会 (第8章)

必要に応じて委員会を追加したり、小委員会を設置したりできます。委員会構成の例は補遺1をご参照ください。

委員長の人選と研修

職業や関心、能力に基づいて委員長を任命します。委員会の活動は複数年にまたがることも多いため、任期を複数年にしたり、再任したりすることで継続性を図ることができます。各委員長は、その委員会で以前に委員を務めた経験をもつ人を選びましょう。

以下を行うことを委員長に推奨します。

- ラーニングセンターで役割に関するオンラインコースを受講する。
- 委員会を率いるリーダーシップスキルを磨くため地区研修・協議会へ出席する。
- 役割についての理解を深めるため、その他の地区研修行事に出席する。

研修行事の一覧については補遺2をご参照ください。

委員会との協力

クラブの各種委員会は、クラブの年度目標と長期目標の達成に向けた活動とプロジェクトの計画、推進、実施に当たります。委員会の目標達成を支援し、クラブ内のリーダーを育成するため、委員会と協力しましょう。

委員会がその力を最大限に発揮できるよう、会長として支援し、積極的な活動を奨励しましょう。

- 各委員会の行動計画の進捗について定期的に話し合う。
- 委員会同士がアイデアや活動状況をシェアできる場や手段を設ける。
- 新しいことに挑戦するよう、委員会のモチベーションを高める。

次年度への引き継ぎ

複数年にまたがる活動では、リーダーシップチームの継続性を保つことが特に重要となります。円滑な引き継ぎをどのように行うか、チームおよび後任者と相談して決めておきましょう。また、次年度の開始前に後任者にチームの一部役割を担ってもらうことで、任務を引き継ぎを円滑に行うことができるでしょう。

クラブのリーダーを育成するために、ワークショップや研修会を実施しましょう。「[実践リーダーシップ：プログラムを始めるための手引き](#)」をご参照ください。

会員の教育

ロータリーとクラブの目標達成に役立つさまざまな手段、情報、資料を活用するよう、会員に奨励してください。会員の研修（新会員オリエンテーション、青少年の保護に関する研修、リーダー育成など）は、会長が任命するクラブ研修リーダーに担当してもらいましょう。クラブ研修リーダーがリーダーシップチームや地区リーダーと協力して、会員に役立つ情報豊かな研修計画を立てることが重要です。

地区では、会員増強、公共イメージ、ロータリー財団など、ロータリーのさまざまなトピックに関する研修を行っています。これらの研修は関連する委員会を対象としたものですが、ロータリアンなら誰でも参加することができます。ロータリーの研修行事のスケジュールは、補遺2をご参照ください。

自主的な学習：会員は、ラーニングセンターのコースを受講してロータリーの知識を深めることもできます。全会員が受講できるコースです。

会員のモチベーションを高める

以下のようなことが、会員の「やる気」につながります。

- 地域社会やクラブの発展につながる目標
- (目標は実現可能なものであること)
- ほかの会員とつながりを築く機会
- キャリアに役立つネットワークづくりの機会
- 進展を実感できること
- 活動に対する表彰や感謝

モチベーションと表彰

ロータリーやその活動に関する知識を深め、目標達成に向けた行動をとれるよう会員の動機を高めることは、会長の重要な責務のひとつです。会長同様、会員も貴重な時間を投じてクラブに参加しているため、会員に対する要望は高すぎないようにし、その貢献に対して感謝を伝えるようにしましょう。上のリストを参考に、クラブ会員のモチベーションを高める要素は何かを見つけてください。また、そうした要素を定期的に確認し、必要に応じて変更を加えましょう。

RI超我の奉仕賞、ロータリー財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞、奉仕部門功労者賞などの賞というかたちで会員の尽力に感謝の意を示すのも一案です。ロータリーの認証については、My ROTARYの[各種賞・表彰ページ](#)をご参照ください。

表彰を行う際は、次のような方法を用いることで、思い出深い行事にすることができるでしょう。

- ガバナーに表彰してもらう
- 受賞者の家族も招待する
- 受賞の様子を写真に収め、クラブのウェブサイトやソーシャルメディアでシェアする
- 入会见込者も招く

地区が独自に賞・表彰を設けている場合もあるため、ガバナーまたはガバナー補佐に確認してみましょう。クラブ独自の表彰を行うのも一案です。

考えてみよう

クラブのリーダーシップチームとの協力関係をどのように築きますか。

クラブ目標の達成に向けた会員のモチベーションをどのように高めますか。

将来のリーダーをどのように育てますか。

ガバナー補佐およびガバナーとどのような形で協力しますか。

補遺1

クラブ委員会構成の例

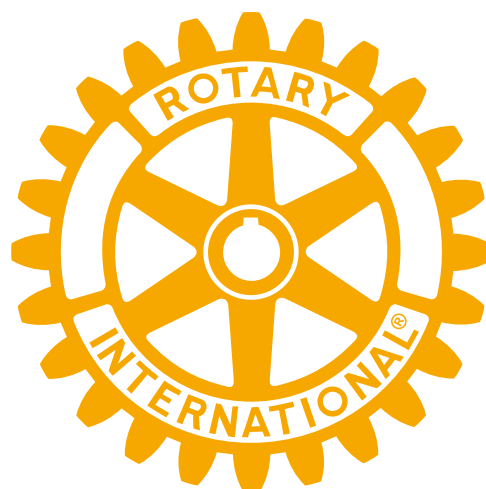
ロータリーは5つのクラブ委員会を推奨しています。クラブの関心や活動、会員数に応じて、委員会を追加、削除や統合することができます。どのような小委員会が適しているかは、ガバナー補佐または地区ガバナーと相談して決めることもできます。

オプション1: 標準的なロータリークラブの委員会						
委員会	<table border="1"><tr><td>クラブ管理運営</td><td>会員増強</td><td>公共イメージ</td><td>奉仕プロジェクト</td><td>ロータリー財団</td></tr></table>	クラブ管理運営	会員増強	公共イメージ	奉仕プロジェクト	ロータリー財団
クラブ管理運営	会員増強	公共イメージ	奉仕プロジェクト	ロータリー財団		
小委員会の例	<table border="1"><tr><td><ul style="list-style-type: none">● プログラム● 会員コミュニケーション● ウェブサイト● 交流行事</td><td><ul style="list-style-type: none">● 新会員勧誘● 積極的参加● 新会員オリエンテーション● 多様性</td><td><ul style="list-style-type: none">● メディア対応● 広告・マーケティング● ウェブサイト・ソーシャルメディア</td><td><ul style="list-style-type: none">● 国際奉仕● 社会奉仕● 職業奉仕● 青少年奉仕● ファンドレイジング (奉仕プロジェクト)</td><td><ul style="list-style-type: none">● ポリオ● (補助金のための) ファンドレイジング● 補助金</td></tr></table>	<ul style="list-style-type: none">● プログラム● 会員コミュニケーション● ウェブサイト● 交流行事	<ul style="list-style-type: none">● 新会員勧誘● 積極的参加● 新会員オリエンテーション● 多様性	<ul style="list-style-type: none">● メディア対応● 広告・マーケティング● ウェブサイト・ソーシャルメディア	<ul style="list-style-type: none">● 国際奉仕● 社会奉仕● 職業奉仕● 青少年奉仕● ファンドレイジング (奉仕プロジェクト)	<ul style="list-style-type: none">● ポリオ● (補助金のための) ファンドレイジング● 補助金
<ul style="list-style-type: none">● プログラム● 会員コミュニケーション● ウェブサイト● 交流行事	<ul style="list-style-type: none">● 新会員勧誘● 積極的参加● 新会員オリエンテーション● 多様性	<ul style="list-style-type: none">● メディア対応● 広告・マーケティング● ウェブサイト・ソーシャルメディア	<ul style="list-style-type: none">● 国際奉仕● 社会奉仕● 職業奉仕● 青少年奉仕● ファンドレイジング (奉仕プロジェクト)	<ul style="list-style-type: none">● ポリオ● (補助金のための) ファンドレイジング● 補助金		

オプション2: 小規模なロータリークラブの委員会						
委員会	<table border="1"><tr><td>クラブ管理運営</td><td>会員増強</td><td>公共イメージ</td><td>奉仕プロジェクト</td><td>ロータリー財団</td></tr></table>	クラブ管理運営	会員増強	公共イメージ	奉仕プロジェクト	ロータリー財団
クラブ管理運営	会員増強	公共イメージ	奉仕プロジェクト	ロータリー財団		

オプション3: 大規模なロータリークラブの委員会

委員会	クラブ 管理運営	会員増強	公共イメージ	奉仕プロジェクト	ロータリー財団
小委員会の例	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラム ● クラブコミュニケーション ● ウェブサイト ● 交流行事 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新会員勧誘 ● 積極的参加 ● 新会員オリエンテーション ● 多様性 ● 新クラブ ● 入会候補者情報プログラム ● 評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● メディア対応 ● 広告・マーケティング ● ウェブサイト・ソーシャルメディア 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際奉仕 ● 社会奉仕 ● 職業奉仕 ● 青少年奉仕 ● ファンドレイジング (奉仕プロジェクト) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ポリオ ● ファンドレイジング (補助金) ● 補助金 ● 年次寄付 ● 大口寄付 ● 資金管理



ロータリーの研修行事

ガバナーエレクトが招集する研修行事

研修会／開催時期	参加者／目的	企画者	参考資料リンク
地区チーム研修セミナー 2月	ガバナー補佐と地区委員長が各自の役割と責務を理解し、地区目標と地区リーダーシップ・プランを立てる。	地区研修委員会	研修者用 ガバナー補佐用 委員会用
会長エレクト研修セミナー (PETS) 2月または3月	クラブ会長エレクトが、会長としての責務を理解し、ガバナー補佐とともに年度目標を立てる。	地区研修委員会	研修者用 会長用
地区研修・協議会 3月～5月 (PETSの後)	会長エレクトがリーダーシップのスキルを伸ばし、ほかの次期クラブリーダーが各自の役割を理解する。クラブのリーダーシップチームが次年度の目標を立てる。	地区研修委員会	研修者用 会長用 幹事用 会計用 委員会用

ガバナーが招集する研修行事

研修会／開催時期	参加者／目的	企画者	参考資料リンク
地区ロータリー財団セミナー 開催時期は地区が決定	クラブのロータリー財団委員長と、関心のあるその他の会員が、財団について学ぶ。	地区ロータリー財団委員会、地区研修委員会	研修者用 クラブロータリー財団委員長用
地区会員増強セミナー 開催時期は地区が決定	クラブ会長、クラブ会員増強委員長、関心のあるその他の会員、地区リーダーが、会員増強について学ぶ。	地区会員増強委員会	研修者用 参加者用
地区公共イメージセミナー 開催時期は地区が決定	クラブと地区のリーダー、関心のあるその他の会員が、ロータリーの公共イメージを向上させる方法について学ぶ。	地区研修委員会	研修者用 (参加者用の資料はクラブまたは地区が作成)
補助金管理セミナー 開催時期は地区が決定	クラブ会長エレクト(またはクラブが指定した代表者)が、ロータリー補助金の管理方法について学ぶ。	地区ロータリー財団委員会、地区研修委員会	研修者用 参加者用
ローターアクト地区指導者講習会 クラブの選挙後、6月30日まで	ローターアクトクラブの次期リーダー、ローターアクター、関心のあるロータリアンとノンロータリアンがローターアクトについて学ぶ。	地区ローターアクト代表	参加者用



新しい アプローチで みんなが楽しめる クラブにしよう!

ロータリーのリソースを
ご利用ください

入会候補者を クラブで 歓迎

入会候補者
対応マニュアル

職業人に 魅力をアピール

クラブパンフレットの
テンプレート

会員の 参加意欲を 刺激

会員の
満足度調査

現状評価と 強化

クラブの
健康チェック

新クラブの 設立

ロータリークラブ
結成ガイド

豊富な資料をダウンロード
rotary.org/ja/membership

第3章

会合の運営



クラブを管理する全般的責任は理事会にあります。積極的参加を促す例会を企画・運営するのは会長の責務です。理事会会合やクラブ協議会の計画、ガバナー公式訪問の準備、財務の監督など、管理運営面での会長の役割を確認しておきましょう。

会長エレクトとして	会長として
クラブ管理運営委員会を任命し、顔合わせをする。	楽しく、参加を促すような会合を運営する（例会、理事会会合、クラブ協議会など）。
	クラブから国際ロータリーへの報告要件が守られるようにする。会員情報の更新は30日以内に行うよう幹事に促す。
	ガバナーとガバナー補佐の訪問に備える。

クラブ管理運営委員会

クラブ運営の監督は会長が担いますが、管理運営面での具体的な責務はクラブ管理運営委員会が担当します。

幹事と会計をこの委員会のメンバーとして任命しましょう。委員長（会長が任命）は、クラブのリーダーシップチームの一員となります（第2章を参照）。クラブ管理運営委員会は次の責務を担います。

- 例会の諸手続きにおいて幹事を援助する
- 興味深く、充実した例会を企画する
- 会員のための親睦行事を企画する
- ニュースレターなどを通じて会員に情報を伝える

活気あるクラブ体験を作り出すために

会長に求められることは、効果的な例会を開くことだけではありません。会員が積極的に参加したくなり、会員同士のつながりも保たれるようなクラブでの体験づくりも大切です。ロータリークラブの健康チェックや会員満足度アンケートなどのロータリーのツールを活用して、クラブの評価に取り組みましょう。その後、クラブ役員や委員長と協力して、クラブに必要と思われる変化を導入します。調査によると、柔軟性のある自由度の高いクラブの方が、新会員を惹きつけやすく、現会員の参加も積極的であることが分かっています。

以下は、柔軟なクラブ運営の例です。

- 例会を月2回とする
- 例会の曜日や時間を変更してみる
- 奉仕プロジェクトや親睦行事を例会とみなす
- 顔を合わせる例会またはオンラインの例会のどちらか、または、顔を合わせる例会とオンラインの例会を交互に行う、または同時に両方の形式を採用する（例：顔を合わせる例会にビデオチャットを通じて参加する）
- 正会員や名誉会員以外の会員の種類（準会員、法人会員、家族会員）を追加する（ただし、これらの会員も正会員として報告され、RI人頭分担金を支払う）
- 資格を満たしたローターアクターのロータリークラブ入会を認める（二重会員）

ロータリーの特別月間をご存じですか？「ロータリー親睦活動月間」（6月）、「会員増強・新クラブ結成推進月間」（8月）、「ロータリー財団月間」（11月）など、特別月間に沿ったテーマで例会を行うこともご検討ください。

創造性を発揮して、楽しみましょう！クラブ管理運営委員会と協力して、会員の積極的参加を促す柔軟な例会の形式やトピックを検討しましょう。以下のクラブ例会の形式例にあるアイデアを取り入れてみましょう。

クラブ例会の形式例

通常の例会	交流行事
<ul style="list-style-type: none"> • 会員が地元社会をより良くするためのアイデアを紹介しあえる時間を設ける • 活動やプロジェクトの企画の場とする • 直接出席できない会員に対して、オンラインでの出席を許可する • ゲストスピーカーを招くのではなく、会員に自身の体験を話してもらう • 毎回違ったテーマを設定する • 会場場所を定期的に変更する • 食事は任意とし、食事をとらない選択肢も与える • 例会の前半はロータリー業務の話し合いに充て、後半は楽しむことを目的とした内容とする • クラブのプロジェクトに関連した業界の専門家を入会見込者として招き、卓話をしてもらう 	<ul style="list-style-type: none"> • 会員が楽しみ、過去1年間の業績を振り返ることができる機会を年に1度クラブで設ける • 親睦のため月1回レストランなどの会場で会合を開く • 年間を通じて家族やローターアクターが参加できるイベントや外出行事を企画する • 各会員の重要な記念日やその他の特別な機会を祝う
ネットワークづくりや研修行事	奉仕プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> • 会員同士が親睦を深められる機会を設ける • クラブへの認知度を高め、新規入会を促し、パートナーシップの可能性を探るため、地域社会の職業人を招いたネットワーキングイベントを開く • リーダーシップ強化やプロジェクト実施に必要なスキルを磨くための研修イベントを企画する 	<ul style="list-style-type: none"> • 他団体と協力して活動範囲を広げる • 会員が心から関心を持てる活動に参加できるようにする • 地域社会での定期的な奉仕活動の機会をつくり、活動後の例会で体験を語り合う • 比較的新しい会員や若手の会員に奉仕プロジェクトを立案してもらい、ベテラン会員が支援を提供する

My ROTARY
のクラブの柔軟性のページ
やラーニングセンターの「柔軟性と革新性を取り入れる」のコースをご覧ください。

重要な案件は「クラブ協議会」で

会員が意見を出し合い、大切な事柄を話し合うのに最適な機会が、クラブ協議会です。多くのクラブは、年に4～6回の協議会を開いています。

会長自身、または会長が任命した会員がクラブ協議会の計画と実施を担当します。全会員、特に新会員に出席を奨励しましょう。会員の関心や懸念に関する話し合いを通じて、会員の意見を引き出すことが大切です。以下は、クラブ協議会の実施時期と目的の例です。

開催時期	目的
地区研修・協議会の直後（7月1日より前）	地区研修・協議会で話し合った活動計画をクラブに提示（次期会長が議長を務める）
7月1日の後	年度目標の話し合い
ガバナー訪問の2週間前	ガバナー訪問の準備
ガバナー訪問中	クラブの活動状況についてガバナーとの話し合い
年度半ば（1月または2月）	目標に向けた進展と会員の全体的な満足度の確認と年度後半の活動計画（必要な変更を含む）を決定
4月または5月	クラブのプロジェクトや活動の完了に向けたその他の重要案件の話し合い

ガバナー訪問に備える

クラブ訪問は、地区ガバナーの重要な役割の一つです。この訪問は、個々のクラブまたは複数クラブ合同で行われ、ガバナーから地区目標に向けた進捗状況の説明、支援、アドバイスを受けるとともに、クラブの目標達成に向けて会員の士気を高める機会となります。

可能であれば、ガバナー訪問とタイミングを合わせて特別行事を開くとよいでしょう（加盟認証状伝達式、入会式、新会員オリエンテーション、表彰式、財団寄付者を招いた夕食会や昼食会など）。

訪問に備えるために

- 目標に向けた進捗を確認しておく。会員が意欲を抱いているか再確認する。ガバナーへの質問や話し合いたい事項を考えておく。
- 委員会活動の計画、状況や成果を報告できるよう準備しておく。

考えてみよう

会員が参加したくなるような例会とするために、どのようなことができますか。

クラブ協議会の内容はどのようなものですか。通常の例会との違いは何ですか。

ガバナー訪問の準備にあたって、会員にどのように協力してもらいますか。



第4章

クラブの運営



会長は、クラブが効率的・効果的に運営されるよう努めます。My ROTARYからは、クラブ運営に関する情報やツールを利用できます。質問がある場合は、ガバナー補佐または[クラブ・地区支援室職員](#)にいつでもお問い合わせください。

会長エレクトとして	会長として
「標準ロータリークラブ定款」と「推奨ロータリークラブ細則」に目を通し、クラブの方針と手続きを把握する。	クラブの財務管理を監督し、RI人頭分担金が速やかに納入されるようにする。
クラブ役員や委員長と協力して、クラブの定款と細則を更新する。	地区研修・協議会への出席を会員に奨励する。
	クラブ活動に伴うリスクを最小限に抑えるための危機管理をする。
	ロータリーのロゴが適切に使われるようにする。

ロータリークラブの基準

国際ロータリー理事会は、以下の通りクラブの最低基準を定めました。

- 国際ロータリーに人頭分担金を納入する
- RI定款に基づき定期的に例会を開く
- クラブ会員が『ロータリーの友』紙またはその他のロータリー雑誌を購読する
- 地元や海外の地域社会のニーズに取り組む奉仕プロジェクトを実施する
- ガバナー、ガバナー補佐、または国際ロータリー役員からの訪問を受け入れる
- 国際ロータリー定款や細則、ロータリー章典に相反しないやり方で活動する
- 他からの援助なしに国際ロータリー人頭分担金と地区賦課金を納入する

- My ROTARYやクラブ管理システム業者を利用してクラブ会員情報を最新の状態に保つ
- クラブ内部の論争を友好的な方法で解決する
- 地区との協力的な関係を維持する
- 国際ロータリーやロータリー財団（その役員、受託者、理事や職員を含む）を相手に訴訟を起こしたり、訴訟を継続したりしないことで、RIに協力する
- 国際ロータリー細則に定められた選挙審査プロセスに従う

上記の基準は、クラブの成功への第一歩にすぎません。活気にあふれる健康的なクラブづくりのために、「[元気なクラブづくりのために:クラブ・リーダーシップ・プラン](#)」の参考例や[クラブの健康チェックのアイデア](#)を取り入れてみましょう。

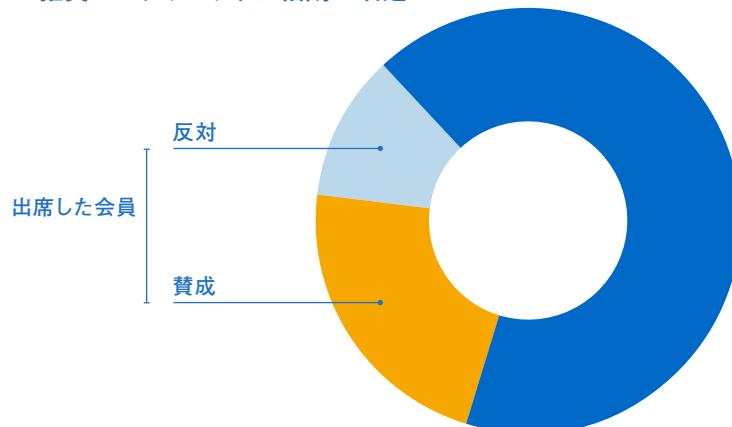
クラブの定款と細則

標準ロータリークラブ定款は、全世界のロータリークラブの基本的なルールを定めたものです。定款は、規定審議会が決定した変更を反映して3年ごとに改定されます。また、クラブの細則は、クラブ管理運営の追加的な指針となるものです。ロータリーの現行の方針を盛り込んだ[推奨ロータリークラブ細則](#)に基づき、クラブ独自の文化や慣習を反映させてこれを修正し、各クラブの細則とすることができます。定期的にクラブ細則を見直し、クラブのニーズに応じて修正しましょう。

クラブ細則を改正するには、会員の票決を経る必要があります。この票決を行う例会の少なくとも10日前までに改正案を会員に通知し、当日は票決に必要な定足数である3分の1以上の正会員が出席していることを確認してください。可決には、出席している会員の3分の2の賛成票が必要です。

また、改正は標準ロータリークラブ定款および国際ロータリーの定款と細則の規定に反するものであってはなりません。

推奨ロータリークラブ細則の改定



定足数: 会員の3分の1
通過: 定足数の3分の2
以上

例:
クラブの会員数: 63名
出席した会員数: 21名
細則を改定するために必要
な賛成の票数: 14票以上

ロータリーのオンラインツール

My ROTARYにログインすると、最新のレポートや情報、ロータリーの手続き（会員情報の変更や役員報告、人頭分担金の支払いなど）をインターネット上で簡単かつ効率的に行えます（ログインするには、まずアカウント登録をする必要があります）。My ROTARYには、さらに、以下のような機能もあります。

- 他のロータリアンとのつながりを広げるため、自分のプロフィール（自己紹介のページ）を更新し、シェアする
- フォーラムのディスカッションに参加したり、新たにフォーラムを立ち上げてベストプラクティスを共有し、革新的なアイデアを議論する
- クラブの奉仕プロジェクトのボランティア、協力クラブ、寄付、寄贈物資を募り、プロジェクトの影響力を高める
- 会長としての役割に備えるためのラーニングセンターやウェビナー

クラブの運営に必要な情報やリンクは、My ROTARY上部メニュー「運営する」タブからご利用いただけます。

情報収集の他にも、My ROTARYではさまざまな管理を行うことができます。

- 個人情報の変更
- ロータリークラブ・セントラルの目標と各種レポートの閲覧と編集
- 入会候補者情報の管理
- クラブ情報の更新
- 会員データの更新（追加、変更、削除）
- 以下に関するレポート
 - クラブ会員
 - クラブの未納額（毎日更新）
 - 寄付と認証
 - シェアとポリオ
- ニュースレターの受信申込み
- 公式名簿の検索

会長、幹事、常務幹事、会計、財団委員長、会員増強委員長は、上記の機能や情報へのアクセス権をクラブの役員に与えることができます。次年度役員の情報 は、必ず2月1日までにMy ROTARYから報告してください。新役員の報告は、My ROTARYの「クラブの運営」ページから行うことができます。

委任

クラブの役員は、My ROTARYでロータリーの手続きを行う権限を、クラブのほかの人に委任することができます。これは、My ROTARYで業務手続きを行うアクセス権を他の会員に委任するものです。会長をその義務から解放するものではありません。被委任者は、委任者のプロフィール、寄付履歴やフォーラムでの活動などの個人情報には一切アクセスできません。ただし、会長がアクセス可能なツールや機密情報へは、被委任者もアクセスできるようになります。詳しくは[オンラインでの委任方法](#)をご参照ください。

報告義務

正確なクラブ請求書や役員への関連情報を受け取るために、任命情報が国際ロータリーのデータベースに記録されていることが重要となります。役員とその連絡先情報（メールアドレスを含む）、会員データの変更情報を国際ロータリーに報告する手続きがクラブに整備されていることを確認しましょう。

クラブは、以下の項目を国際ロータリーに報告する義務があります。

- 正確なクラブ請求書を事務局から受け取るために、会員情報への変更を7月1日または1月1日までに報告する。
- 新会員と退会者の情報を入退会から30日以内（遅くとも7月1日または1月1日まで）に報告する。
- 次年度の新役員情報を2月1日までに報告する。例会場所や時間に変更がある場合も、2月1日までに報告する。
- 公式名簿に掲載される情報を2月1日までに報告する。
- ロータリー財団の補助金を利用した場合、補助金の用途について報告する。
- 会員増強目標を含むクラブ目標（6月1日までに[ロータリークラブ・セントラル](#)から入力）。

財務管理

財務に関して、会長は、クラブ資金を監督し、適切な資金管理が行われていることを確認し、法律（税金や非営利団体に関する法など）を順守していることを確認します。

人頭分担金・その他の会費

会員からの会費の徴収と国際ロータリーや地区への支払いの手続きを会計やクラブ役員と一緒に確認しておきましょう。クラブに所定の方法がない場合には、新たに決めてもよいでしょう。

クラブ会費: この会費は、毎週、毎月、四半期ごとなど、クラブが決めた頻度で会員が支払うもので、金額はクラブにより異なります。通常、例会場の費用、食事代、講演者への謝礼、事務局運営費などがこれに含まれ、毎年度予算に基づいて金額を設定すべきです。

地区賦課金：多くの地区は、地区が提唱するプロジェクトや地区の管理運営費を賄うために、クラブから人頭賦課金を集めています。賦課金の額は、毎年、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会、地区大会のいずれかで承認されます。

国際ロータリーの人頭分担金：クラブは年に2回、以下の人頭分担金を国際ロータリーに支払います。

2018-19年度：会員一人あたり32ドル

2019-20年度：会員一人あたり34ドル*

人頭分担金の請求書は毎年7月と1月にクラブに送付されます。半期の途中で入会した会員については、比例人頭分担金を支払う必要があります（丸1カ月在籍ごとに上記金額の6分の1）。

人頭分担金はロータリーの一般運営費となり、国際ロータリーの支援業務やリソース（各言語の資料と出版物、クラブ・地区・プロジェクトの支援、研修、指針の提供、次期クラブ役員のための資料、ロータリーウェブサイトなど）にかかる費用に充当されます。

そのほかの会費：人頭分担金のほかに、『The Rotarian』誌購読料（購読者がいる場合）、規定審議会費用、その他の費用を国際ロータリーに支払う必要があります。同じ住所に住む2人のロータリアンは、『The Rotarian』誌（英文）またはロータリー地域雑誌（日本は『ロータリーの友』誌）を合同で購読することができます。

クラブ請求書

クラブ請求書が、7月と1月にクラブ幹事にEメールで送られます。この請求書は、7月1日と1月1日までにクラブが国際ロータリーに報告した会員情報に基づいています。

入退会者が出た場合、幹事は入退会から30日以内に会員名の追加と削除を行い、名簿を最新の状態に保つ必要があります。最新の会員名簿を国際ロータリーに報告することで、正確な請求書を受け取ることができます。請求書に記載された金額は、以下の役員のいずれかがMy ROTARYの「運営する」→「[クラブの運営](#)」からクレジットカードで支払います。

- 会長
- 幹事
- 常任事務局職員
- 会計
- 会員増強委員長
- 財団委員長

クラブ請求書には、比例人頭分担金とロータリー地域雑誌の購読料も含まれています。また、7月の請求書には、規定審議会費も含まれています。

請求書を受理したら、できるだけ速やかにお支払いください。人頭分担金の滞納は、クラブの加盟終結につながったり、「納入義務を果たしていないクラブ」としてロータリーのリソースが活用できなくなる可能性があります。支払方法についての詳細は、[クラブ請求書に関するよくある質問](#)をご参照ください。

*規定審議会により変更されない限り、2019-20年度以降の人頭分担金の額は変わりません。

加盟の終結と復帰

人頭分担金とそのほかの納入金を滞納しているクラブは、加盟が終結されます。また、ロータリー財団からの資金を会員が誤用・悪用した場合にも、クラブの加盟が停止または終結となる可能性があります。

終結: 請求書の発行日(1月1日と7月1日)から4カ月後に国際ロータリーへの人頭分担金やその他の会費が未納となっているクラブは、加盟終結となります。終結から150日以内に未納金全額を納入しなかったクラブは、当初の加盟身分を失い、復帰する資格がなくなります。

復帰: 加盟終結となったクラブが復帰を希望する場合には、終結から150日以内に、国際ロータリーへの未納金全額と会員一人につき30ドルの加盟復帰料を納入する必要があります。また、復帰の際には、正確な会員データの記録として、その時点で会員リストを提出する必要があります。

会員身分の終結: 支払期日から30日以内に会費を支払わなかった会員には、幹事が連絡を取って支払いを要請するとともに、支払期限と金額を書面で通知すべきです。この通知の発行日から10日以内に会費が支払われなかった場合、理事会が同意すれば、この会員身分を終結とすることができます。ただし、この会員が復帰を請願し、クラブへの未納額を全額支払った場合、理事会はこの会員を復帰させることができます。

税金

クラブが政府機関に提出すべき税金関連の書類があるかどうか、調べておきましょう。税金に関する必要事項については、地区財務委員会かガバナー補佐に問い合わせることをお勧めします。

募金活動(ファンドレイジング)

地域社会のニーズに合ったプロジェクトや活動を率いることで、会長としてより意義深い貢献を行うことができます。クラブのプロジェクトやロータリーの世界的な人道的支援を支援するために、募金を通じた効果的な資金調達計画を立てることができます。

ロータリーの信頼性を損なわないよう、資金の透明性を保つことが大切です。以下のベストプラクティスをクラブで取り入れてください。

- 所在国の法律に従い、募金を申告する。
- イベント収益の用途となるテーマを特定する。
- 募金が課税控除の対象となる場合、寄付者に領収証を発行する。
- ロータリー財団への寄付の送金手続きを確立する。
- ロータリー財団への寄付は、国際ロータリーへの支払いとは別に送金する。

クラブの基金: クラブが独自に基金を設置する(または既に設置している)場合、所在国の法律が守られているかどうかを確認しましょう。関連する法律や税金について税理士や弁護士と相談することをお勧めします。ご質問は[クラブ・地区支援担当室職員](#)にお問い合わせください。

ロータリー財団の補助金は、会員と支援者からの自発的な寄付で支えられています。詳しくは[ロータリー財団参照ガイド](#)をご参照ください。

募金活動に関する詳細は[ロータリーセンターの「クラブ会計の基本情報」](#)を、募金行事の計画方法については「[クラブ奉仕委員会の基本情報](#)」をご参照ください。

リスク管理

会合の開催、募金の実施、青少年に関する活動など、いかなる機会においても、リスク管理を適切に行いましょう。リスク管理とは、想定しうる損害を特定し、こうした損害の影響を低減するための積極的なプロセスを指します。リスク管理には以下のような内容が含まれます。

- 「どのような事態が起こりうるか」という観点から活動を評価する。
- リスクが最小限となるよう、活動の内容に変更を加える。
- 各当事者の役割と責務を明確に記載した契約書や同意書を使用する（法的文書の作成や確認時には弁護士に相談する）。
- 既存の方針、手続きやガイドラインを順守する。

積極的な取り組みにより、損害の影響を低減できます。会長の役割には、クラブの指針を示すことも含まれます。リスクを認識し、管理することが、会員、プログラム参加者、クラブの資産を守ることに繋がります。

賠償責任から身を守る方法について、弁護士や保険専門家に相談することをお勧めします。この方法として、クラブ（あるいは活動）の法人化や賠償責任保険への加入などが考えられます。米国およびその領土内のクラブに対しては、一般賠償責任保険と理事および役員／雇用慣行賠償責任保険への加入が義務付けられています。これらの保険はロータリーが提供するもので、保険料は米国およびその領土内のロータリー会員が負担しています。米国外のクラブについても、未加入の場合には賠償責任保険への加入を検討すべきです。詳しくは[ロータリー章典72.050](#)をご参照ください。

地区との協力

地区リーダー（ガバナー、ガバナー補佐、委員会、研修リーダー、幹事、パストガバナー）は、以下のようなさまざまな方法でクラブを支援します。

- 会員増強やプロジェクトについてアドバイスする
- 共通の問題を抱えていたり、同じようなプロジェクトを実施しているクラブ同士を紹介する
- リーダー育成や奉仕の機会を提供する
- 方針の変更についてクラブに伝える
- ロータリーのプログラム（地区補助金、グローバル補助金、新世代プログラム、ロータリー平和フェローシップなど）の調整を図る

クラブにとって地区の窓口となるガバナー補佐は、年度を通じてクラブを直接支援します。さまざまなクラブに接する機会があるガバナー補佐は、クラブ共通の課題への多彩なアプローチを紹介し、目標の達成や課題の克服に資する洞察をシェアしてくれる存在です。

考えてみよう

クラブの管理運営面におけるあなたの目標は何ですか。

クラブ運営において、何を改善したいと思いますか。

クラブの資金管理を徹底するために何を行いますか。

ロータリーのオンラインツール

ツール	内容	情報を掲載・更新する人	問い合わせ
Rotary.org	Rotary.orgは一般向けにロータリーを紹介したサイトです。	RI職員	website@rotary.org
My Rotary	My Rotaryは、ロータリー会員とロータリーファミリー向けのより詳しい情報が見られるサイトです。My Rotaryにログインしなくても多くの情報を閲覧できますが、ログインすれば、個人用にカスタマイズされた内容、役職に応じた情報、参加しているグループなどの情報を見ることができます。	RI職員	
プロフィールとネットワーク	ロータリアンとローターアクトは、My ROTARYで自分のプロフィールを作成し、個人用メールアドレスを公開せずにはかのMy ROTARYユーザーと直接メッセージをやりとりすることができます。	ロータリアンとローターアクト	social@rotary.org
フォーラム	ロータリアン、ローターアクト、ロータリー平和フェロー、学友は、My ROTARYにある「フォーラム」からディスカッショングループに参加して、ロータリーファミリーの世界中のメンバーと情報やアイデアを交換できます (My ROTARYへのログインが必要)。自分の関心に応じて既存のグループに参加するか、新しいグループを立ち上げることができます。	ロータリアン、ローターアクト、ブログラム学友	social@rotary.org
アイデア応援サイト	クラブは、一般にも公開されているこのサイトを通じて、奉仕プロジェクトのためのパートナー、ボランティア、資金、物資を募ることができます。支援者は、オンライン支払ツールPayPalを使用して、プロジェクトに直接寄付を寄せることができます。また、ロータリアンは、アイデア応援サイトに掲載した自分たちのプロジェクトを、クラブや地区のウェブサイトで共有することができます。クラブのリーダーは、地元でのプロジェクトを実現するために、このサイトで支援を募るよう奨励されています。	ロータリークラブのリーダーとローターアクトクラブ会長	social@rotary.org
ロータリーショーケース	ロータリアンとローターアクトが、写真や動画を添えてクラブのプロジェクトを紹介できるサイトで、ロータリーだけでなく一般にも公開されています。プロジェクトのパートナー探しや、世界中のロータリー関係者にプロジェクトの成果を紹介するのにも役立ちます。プロジェクトのデータを、ロータリークラブ・セントラル（奉仕目標に関する部分）へインポートすることも可能です。	ロータリアンとローターアクト	social@rotary.org
ロータリークラブ・セントラル	クラブはこのツールを用いて、会員増強、奉仕、財団への寄付に関するクラブ目標を設定し、地区リーダーは、地区内クラブが定めた目標を確認、修正できます。クラブ・地区のリーダーは、現年度に加え、前年度と次年度のデータを入力・修正できます。また、ロータリアンは自分のクラブの目標をいつでも確認できます。「奉仕」の項目では、補助金センターや「ロータリーショーケース」といったオンラインシステムからデータをインポートすることが可能です。	クラブと地区のリーダー	cds@rotary.org
イベント	ロータリアンとローターアクトは、ロータリー国際大会へのオンライン登録ができ、今後の大会関連の情報を見ることができます。	RI職員	website@rotary.org
ブランドリソースセンター	ロータリアンは、ロータリーの「ボイス」と新しいビジュアルアイデンティティを取り入れた資料をカスタマイズ/ダウンロードできます。	RI職員	graphics@rotary.org
補助金センター	地区の参加資格認定、地区補助金とグローバル補助金の申請をするためのオンラインシステムです。	補助金を申請するロータリアン	grants@rotary.org
ラーニングセンター	新しいスキルを学んだり、目標達成や役職に向けて準備するなど、主題別・役割別の学習リソースを利用できます。	RI職員	learn@rotary.org



クラブの推進に必要なツールを
お探しの皆さんへ



ロータリーブランドリソースセンターを
ご利用ください



WWW.ROTARY.ORG/MYROTARY/JA

第5章

会員基盤の強化



青少年奉仕月間（5月）と会員増強・新クラブ結成推進月間（8月）に、特別な行事や活動を企画しましょう。

地元や海外での奉仕活動、財団プログラムへの参加、将来のリーダー育成など、どの場面でも一番大切なのは、その担い手となる会員です。活動熱心な会員を中心に、充実したクラブが築かれ、会員基盤も発展していきます。

会員基盤を考えると、もう一つ大切な要素は「多様性」です。現在のクラブ会員構成は、地元の職業分布や文化的特徴を反映していますか。多様な会員がいれば、その多様性に惹かれて入会希望者も増え、幅広いスキルと経験を活動に生かし、互いに成長し合える環境ができるでしょう。

あなたの役割：会員増強と勧誘

会長エレクトとして	会長として
会員増強委員を任命し、顔合わせをし、My ROTARYから委員を必ず報告し、地区会員増強セミナーへの参加を奨励する	自らが率先して新会員を推薦する
クラブの会員組織の現状を確認し、分析する	方針・手続きを見直す（柔軟性をもたせ、現代の職業人にふさわしい内容にする）
クラブに対する会員の満足度を確認し、リーダーシップチームとともにより柔軟なクラブ運営を目指す	新会員を惹きつけ、会員の参加を促すような新しい形式で会合を開く
ロータリークラブ・セントラルで次年度の会員増強目標を設定する（地区目標に沿ったものとする）	会員の積極的なクラブ参加を促せるように、会員増強委員会の活動を調整する
あらゆる段階にある会員（新会員、現会員など）を対象とした研修を実施する	クラブ協議会で入会への魅力を高める方法を検討する

新クラブのスポンサーとなる場合には、My ROTARYの「[新クラブをつくらう](#)」のページが参考になります。

会長エレクトとして	会長として
近隣地域で新クラブ結成の機会を模索する	地元の職業や文化を反映した会員構成を目指す
クラブの行事や活動など、学友と協力する機会を探る	新会員の推薦者を表彰する
	会員の貢献を表彰する
	オンラインで入会候補者情報を管理したり、管理のアクセス権を他のクラブ役員に委任する

クラブ会員増強委員会

会員増強は、ロータリーの最優先事項のひとつです。クラブ特有の課題に取り組む会員増強計画の実践において、中心的な役割を果たすのがクラブ会員増強委員会です。

委員会は主に、入会促進、会員維持、研修、その他の関連活動を担当します。(委員会構成の例は補遺1をご参照ください。詳しい責務はクラブ細則で規定のこと)。

会員増強委員会は、会員5~15名(または少なくとも会員合計の10パーセント)が委員となり構成されます。地域社会のさまざまな業界・分野に知り合いのいる人、全会員が満足できるクラブづくりに関心のある人、人づきあいの上手な人、またはロータリーに造詣の深い人が委員として適任でしょう。委員長をはじめ、会員増強委員は地区会員増強セミナーへの参加が強く推奨されます。セミナーでは、ロータリーのオンラインツールの使い方を学び、会員の満足度を高め、新会員を惹きつけるためのアイデアをシェアすることができます。詳しくは補遺2と補遺3をご参照ください。

会員増強委員会と定期的に話し合い、クラブの会員増強達成のために委員会が実行する戦略についてよく理解するようにしましょう。委員会の主な責務は次の通りです。

- 入会见込者を特定する
- 入会见込者をロータリーの活動に招待、またはクラブに紹介する
- クラブに適した入会见込者を招待する
- 新会員と現会員の積極的な参加を促す

詳細は補遺4をご参照ください。

まずはクラブの現状把握から

会員増強目標を立てる前に、クラブ会員増強委員会と協力し、クラブ評価ツールを使ってクラブの現状を確認しておきましょう。クラブの会員傾向の分析から始めることで、現状の課題を把握することができます。各年の新会員数、退会者数の把握からスタートしましょう。ロータリークラブ・セントラルからダウンロードできる[会員増強のレポート](#)を使ってクラブの会員傾向を確認し、地区ガバナー、ガバナー補佐、地区会員増強委員長やロータリーコーディネーターからアドバイスを得ましょう。

次に、ロータリークラブの健康チェックをクラブの理事とともに実施し、結果について議論します。どのような点が改善できるかをグループで判断します。[会員満足度アンケート](#)で会員からの意見を把握し、得られた提案を会員増強計画に盛り込みます。

会員増強委員会委員が地区会員増強セミナーに参加できない場合には、[ラーニングセンターの会員増強に関するコース](#)を受講できます。

「[会員増強詳細報告](#)」ニューズレターの受信を設定し、My ROTARYの「[会員増強のベストプラクティス \(Membership Best Practice\)](#)」のフォーラムに参加しましょう。

会員傾向を分析し、会員増強目標を立てたら、ロータリークラブ・セントラルに入力し、行動計画も立てましょう。

ラーニングセンターの「あなたのクラブは健康ですか？」コースでは、持続可能な成長のための機会や改善点を見出すためのヒントが得られます。

ウェビナーの登録または録音ビデオは rotary.org/ja/webinars から。

多様性

多様な会員が集まるクラブほど、クラブでの体験が味わい深いものとなるでしょう。また、奉仕プロジェクトでも、それだけ幅広い経験や知識を活用した、地域社会への貢献が可能となります。

年齢、性別、民族、職業分野から見たクラブの会員構成は、地元地域の特徴を忠実に反映したものとなっていますか？会員の多様性と職業分類調査を使って、クラブの多様性を評価してみましょう。さらに、ラーニングセンターで「クラブ会員基盤の多様化」コースを受講し、さまざまな会員の集まるクラブづくりを目指しましょう。

ロータリーでは、性別、人種、民族、信条、国籍を理由に入会を制限することは禁じられています。詳しくは国際ロータリー細則をご参照ください。

入会への魅力を高める

新会員が入会すると、新しいエネルギーやアイデアがもたらされ、地域社会で活動する力も倍増します。また、新会員は将来のロータリーリーダーとなる可能性もあります。クラブの発展には、新会員を集めることが非常に重要です。

会員増強委員会と協力して行うべきこと

- 地元で関心の高い問題に取り組む。奉仕活動に画期的なアプローチを取り入れてみる。
- ソーシャルメディアや地元メディアを通じて、クラブの活動が地域社会に与えている影響を紹介する。
- クラブにまだない職業分類の人を対象にロータリーを紹介する。
- ロータリー学友にも働きかける。
- 入会見込者をクラブの行事や奉仕活動に招く。
- クラブの冊子を更新し、会合の参加者に配布する。
- 地元のコミュニティがロータリーと出会う機会となるよう、入会見込者向けのイベントを開催する。

ラーニングセンターのコース「入会促進のさまざまな方法」では、地元の入会見込者とつながるためのアイデアを見つけることができます。

入会候補者情報の管理

ロータリーには、ロータリー入会への関心をもつ世界中の入会候補者情報が多数寄せられます。これらは、Rotary.orgの「参加しよう」のページからオンラインフォームを提出する形で寄せられたものです。これらの情報は、国際ロータリーから該当地区へと割り当てられます。各地区は候補者のニーズに適していると思われるクラブを指定します。クラブが指定されると、会長、会員増強委員長、幹事にメールが届きます。候補者情報は、My ROTARYのクラブの運営ページからアクセスできます。

入会式を行って新会員を歓迎しましょう。入会式のアイデアは、「新会員のためのオリエンテーション」「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」をご参照ください。

入会候補者情報に速やかに対応できるよう、クラブで担当者を決めておきましょう。候補者がクラブに合わない判断した場合は、ほかのクラブを指定するよう地区に連絡できます。最終的にロータリーの入会につながらない場合も、適切に対応することで入会候補者により印象を与えることが大切です。

入会候補者についての理解を深めるためには、ロータリーの[ラーニングセンター](#)のコース、「入会候補者情報プログラム」をご覧ください。

クラブに若いメンバーを勧誘するためには、若い世代との関係構築のためのヒントが満載の「[若い世代の職業人とともに](#)」キットを活用しましょう。

クラブ・リーダーシップ・プランの立案には「[クラブ・リーダーシップ・プラン作成のためのチェックリスト：ワークシート](#)」も役立ちます

会員の積極的参加

新会員を集めると同時に、現会員による積極的な参加を促しましょう。例えば、活発にコミュニケーションを取ったり、リーダー職や役割を任せることで参加意欲が高まります。積極的な参加が促される環境づくりも大切です。退会した会員に退会理由を聞いてみたり、[会員維持調査と分析](#)を使ってクラブの強みと弱みを見つけるのも有用でしょう。

活発でモチベーションの高い熱心な会員が多ければ多いほど、クラブでの活動が楽しく、効率的になるでしょう。さらに、そうした会員ほど新しい会員を連れてきてくれるものです。

他の活動と比べてロータリーを優先する会員は、退会の可能性が低くなります。クラブに対する会員の意見を把握するためには、[会員満足度アンケート](#)の実施も有用です。クラブでの体験をよりよくするためにアンケートの結果を活用しましょう。効率的で楽しく、時代に即したクラブづくりのアイデアについては、「[元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン](#)」をご参照ください。クラブ基盤強化のためのベストプラクティスを紹介しています。

新会員が入会してすぐに積極的に関与できるような環境を作りましょう。クラブ、地域社会、世界のロータリーの活動やプログラムに参加し、ロータリーならではの体験を味わうための方法を紹介した「[奉仕と友情の輪を広げよう](#)」の活用をお勧めします。新会員のオリエンテーションや歓迎においては、クラブの会員一人ひとりが主体的に関わるのが大切です。ロータリーの[ラーニングセンター](#)の「[新会員オリエンテーションの計画](#)」コースでアイデアを探してみましょう。

ご質問については、[ガバナー補佐](#)、[ロータリーコーディネーター](#)、[直前会長](#)や[クラブ・地区支援担当室職員](#)にお寄せください。[ラーニングセンター](#)の「[ロータリー活性化](#)」コースも参考になります。

四半期に一度発行される学友ニュースレター「Reconnect」を受信して、学友関連の情報、イベント、ニュースをチェックしましょう。

クラブ役員は、地区に関連するロータリーの過去のプログラムへの参加者と学友の情報を「プログラム参加者と学友に関するレポート」で確認できます(氏名、参加プログラム、連絡先)。

学友との関係

「学友」と呼ばれるロータリープログラムの元参加者は、ロータリーを実体験し、その魅力をほかの人に伝えることができるとても貴重な存在です。プログラム直後にはまだ入会できないかもしれませんが、今後クラブへ入会したり、寄付をしてくれる可能性もあります。「学友」と呼ばれるのは、以下のプログラムに参加した人たちです。

- [インターアクト](#)
- [ローターアクト](#)
- [ロータリー青少年交換](#)
- [新世代奉仕交換](#)
- [ロータリー青少年指導者養成プログラム \(RYLA\)](#)
- [ロータリー平和フェローシップ](#)
- [ロータリー奨学金 \(グローバル補助金または地区補助金\)](#)
- [職業研修チーム \(VTT\) メンバーとリーダー](#)
- [国際親善奨学金](#)
- [大学教員のためのロータリー補助金](#)
- [研究グループ交換 \(GSE\) メンバーとリーダー](#)
- [ロータリーボランティア](#)
- [クラブまたは地区の奨学金プログラム](#)
- [米山奨学金](#)

まずは声をかけてみましょう。ロータリーの行事や活動に協力してもらうなど、さまざまな方法でロータリーとのつながりを保つことができます。プロジェクトのアドバイザーという形で協力を求め、学友のスキルを活用しましょう。積極的に参加してくれる学友ほど、将来的な入会の可能性が高いものです。

学友が参加・協力できること

- 海外のクラブとの架け橋となり、新しい奉仕活動や親睦活動を支援する
- ロータリーでの個人的な体験談を紹介する(例会での卓話、地元新聞、ソーシャルメディアなど)
- 友人にロータリープログラムへの参加を勧める
- プログラム参加者の選考、オリエンテーション、受入れを手伝う

プログラム終了後もロータリーに参加することは、学友にとってもメリットがあります。例えば、地域社会やビジネスのリーダーなど、影響力のある人びととの交流を通じて将来のキャリアに役立つ知識やスキルを学ぶことができます。クラブへの参加を勧める際には、このようなメリットを学友に伝えましょう。

考えてみよう

会員の積極的な参加を促すために、どのようなことを行いますか。

より柔軟なクラブを作り上げるために、会長として何ができるでしょうか。

入会への関心を高めるために、何を行いますか。

クラブ会員増強委員会のためのチェックリスト

クラブ会員増強委員会の役割は、入会への魅力を高め、現会員の参加を促すための行動計画を立て、実行することです。この委員会を効果的に運営するには、意欲ある会員 5～15 人が委員となり、クラブの会員増強計画を進めていく必要があります。また、委員会の構成は、次年度への継続性とクラブ会員や地域社会の多様性を反映するべきです。

1. 入会候補者を見つける：

- 「会員増強のための評価ツール」に含まれている会員の多様性と職業分類の調査を、毎年実施する。クラブにまだいないタイプの人やロータリーの活動に関心を示している人を見つける。
- クラブの全会員に、「入会候補者情報ワークシート」に毎年記入するようお願いする。
- My ROTARY の「クラブの運営」ページから、クラブに紹介された入会候補者情報を定期的に管理する。
- 入会候補者について検討し、入会状況を確認するため、少なくとも月に 1 度は会合を開く。
- 各入会候補者を担当する会員に、入会に向けたプロセスを進めるようお願いする。

2. ロータリーについてもっと知ってもらう：

- 入会候補者の参加促進を担当するのに最もふさわしい会員を選挙する。各入会候補者の具体的な関心を念頭に置き、クラブで情熱を行動に移す方法を説明する。
- 定期的に入会候補者向けのイベントや説明会を開催し、ロータリー、クラブ、ロータリーの活動理念を説明する。
- 入会候補者として特定した人を、奉仕活動や例会に招待する。
- クラブについて、例会で期待されること、クラブでのつながりや交流、奉仕の機会について、資格ある入会候補者に説明する。

3. 入会を促す：

- 各入会候補者にアプローチするのに最もふさわしい会員を任命し、入会を勧誘してもらう。
- 意義ある形で入会式を開催する。クラブの全会員が出席し、家族も参加できるようにする。
- クラブやロータリーの役立つ資料を含めた歓迎キットを新会員に渡す。
- 新会員の入会を祝う。クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアページ、ニュースレターに掲載する。

4. 積極的な参加を促す：

- 新会員を対象としたオリエンテーションを実施し、クラブの活動に積極的に参加してもらう。
- 各新会員に会員 1 名をメンターとして任命し、職業や地域社会に関する知識、ロータリーの情報を新会員に紹介する。
- 全会員に奉仕プロジェクトやクラブ委員会に参加してもらう。
- 会員満足度調査を使って、全会員の満足度を少なくとも毎年チェックする。



第6章

ロータリーの広報



地元や海外で活動するロータリーの原動力は、世界120万人の会員にあります。会員が増え、地域社会からのサポートも増えれば、もっと大きな活動成果をもたらすことができるでしょう。そのためにはまず、ロータリーという組織とその活動をよく知ってもらうことが大切です。これはクラブを拡大し、奉仕活動を支えるボランティアや寄付を集める上でも欠かせないことです。

ロータリーを紹介するには、会員一人ひとりが重要な役割を果たします。各会員が家庭、職場、地域社会でロータリーについて話すことが第一歩となります。一人ひとりが広報の一端を担っていることを伝え、必要に応じて支援を提供しましょう。ロータリーへの理解が深まれば、クラブへの関心が高まり、ボランティアや寄付も集まりやすくなるでしょう。

あなたの役割：ロータリーの公共イメージ

会長エレクトとして	会長として
公共イメージ委員会を任命し、会合を開く	メディアに対するクラブのスポークスパーソンとなる（またはスポークスパーソンを決める）
公共イメージ委員会とともに広報計画を立てる	ビジネスリーダー、市民リーダー、若い職業人、他団体に、ロータリーの主な活動とクラブを紹介する
ロータリークラブ・セントラルで現在の公共イメージ活動を確認する	地元メディアや他団体との協力関係を築き、ロータリー紹介の機会を作る
活動や行事を計画する際は、会員の行動力と実行力を示すものとなるよう考慮する	家族、知人、同僚にロータリーを紹介する
ロータリークラブ・セントラルを使って公共イメージ関連の目標を立てる	ロータリーが地域社会のために実施している活動を紹介する

会長エレクトとして	会長として
	ソーシャルメディアを活用して現会員や元プログラム参加者、支援者とながり、クラブの広報を行う
	ブランドリソースセンターのリソースを活用し、「世界を変える行動人」としてのクラブ会員の活動を紹介する

クラブ公共イメージ委員会

ロータリーを幅広く紹介し、クラブのプロジェクトや活動を計画的に広報するのがクラブ公共イメージ委員会の役割です。会長として、クラブの広報面での取り組みの実施や評価を支援しましょう。

公共イメージ委員には、活動熱心で、コミュニケーションが上手く、ロータリーとクラブに関する知識が豊富な人が適しています。可能であれば、委員長には、広報やメディア関係の仕事をしている人、地元メディアとの仕事上のつながりがある人を選出しましょう。

委員会の主な役割

- 地区公共イメージ研修セミナーに参加して広報のアイデアと戦略を学ぶ（詳しくは補遺2をご参照ください）
- 広報計画を立案する
- 次年度のクラブの公共イメージ目標を設定し、達成に向けた活動に当たる（ロータリークラブ・セントラルをご参照ください）
- [ブランドリソースセンター](#)のリソースを活用し、クラブを紹介する
- [ブランドリソースセンター](#)の「世界を変える行動人」キャンペーンの資料を活用し、ロータリーに対する一般の理解を深める
- 会員、メディア、一般の人びとに対してクラブ活動の広報を行う
- クラブの奉仕活動や行事を計画する際に、メディアの関心を引く方法をアドバイスする
- 入会見込者の関心を引くような広報を検討する

公共イメージの向上に大切なのは、時間をかけて検討・計画することです。年度が始まる前から、公共イメージ委員会と協力して広報計画を立て、広報対象者、戦略、リソースとツールについて考えておきましょう。詳しくは、[ラーニングセンター](#)の「クラブ広報委員会の基本情報」のコースをご参照ください。

ガバナー、ガバナー補佐、地区広報委員長、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）からもアドバイスを得られます。

ロータリーについて尋ねられたら

会長はクラブの「顔」となる存在です。プロジェクトの式典、寄贈式、その他の場面で一般の人を対象にスピーチする機会も多いものです。「ロータリーとは何か」「ロータリーはどのような活動をしているか」「ロータリアンとは誰か」といった基本的な質問にすぐ答えられるよう準備しておきましょう。

メディアのインタビューや外部へのスピーチで重要な点を整理するためには、以下のメッセージが参考になります。

導入:第一メッセージ

- 世界は今日、紛争や病気、水・医療・教育・雇用機会の欠如などの根強い問題に直面しています。

補足メッセージ

- ロータリー会員は、地域社会が抱える問題への解決策を考え、地元のリーダーや専門家とともに最後まで責任をもって行動します。

ロータリーについて:第一メッセージ

- ロータリー会員は、課題を「機会」ととらえて行動を起こします。より良い地域社会をつくるために、地元や世界の根強い問題に多角的に取り組んでいます。
- ロータリーは、世界中の異なる国、文化、職業、経験をもつ120万人の会員からなるネットワークです。これらの会員は、それぞれの地元のロータリークラブで活動しています。
- ロータリークラブは、大小さまざまな奉仕活動を通じて、会員仲間や家族、友人、地域社会の人びとや他団体とともに、ビジョンを分かち合い、持続可能な解決策をもたらす方法を考え、行動に移します。

補足メッセージ

- 他団体、地元市民、支援者の方々とともに、ロータリーは次の分野に重点を置いて活動しています。
 - 平和を推進:文化間、国家間の理解をはぐくむために対話を促します。
 - 疾病との闘い:命にかかわる病気や予防可能な病気への感染を食い止めるために、地域の人びとに正しい知識を教え、より良い医療を利用できるよう支援します。
 - 安全な水の提供:一人でも多くの人が安全な水と衛生設備を利用できるよう、解決策をもたらしています。
 - 母子の健康:一人でも多くの母と子が健康に暮らせるよう、質の高い医療を提供します。
 - 教育の支援:子どもと成人の教育の機会を広げ、教育者のエンパワメントを促進します。
 - 地元経済の発展:地域社会が経済的、社会的に発展する機会を創り出します。
 - ポリオ撲滅:世界中から協力を集めて地球上からポリオをなくすことをめざしています。
- 世界のほぼ全域にあるクラブで、会員が地域密着の活動をしています。ロータリーは信頼できるパートナーです。

ロータリーが最優先とする奉仕活動は、世界でポリオを撲滅することです。

- 1988年以来、ポリオの発症数は99.9パーセント減少し、撲滅まであと一歩のところまで近づいています。
- 撲滅活動におけるロータリーの主な役割は、資金調達、アドボカシー活動、ボランティアの動員です。
- 現在までに、ロータリーは122カ国、20億人以上の子どもたちをポリオから守るために、22億米ドル以上の資金と莫大なボランティア要員時間を捧げています。
- 2020年まで、ロータリーがポリオ撲滅のために集めた資金に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の額の上乗せが提供されます（上乗せの対象となるのは年間5000万ドルまで）。

ロータリーは、教育や人道的奉仕活動にくわえ、若いリーダーの育成をも通じて、平和と国際理解を築いています。

- ロータリー平和センター修士号プログラムの卒業生900人以上が、世界各国の政府、企業、組織で、意思決定にかかわる重要な役職に就き、活躍しています。
- ロータリーの人道的プロジェクトでは、紛争の根源となる要因（貧困、非識字、水欠如の問題など）に取り組み、争いを防ぐことを目指しています。
- 毎年8,000人を超える高校生がロータリー青少年交換プログラムを通じて115カ国に留学し、国際親善を促しています。
- ローターアクトとインターアクトでは、若者がボランティア精神を培い、リーダーシップの力と将来のキャリアに役立つスキルを伸ばしています。

ロータリーというブランドの真髄とバリューをわかりやすく伝える答えを準備する際には、「[ボイス](#)」と[ビジュアルアイデンティティのガイド](#)をご参照ください。以下のキーポイントを参考にしましょう。

「リーダーのネットワークへ」

- 私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。
- ロータリーでは、さまざまな分野のリーダーが専門知識や経験を持ち寄り、人びとや社会のために活動しています。
- 世界中の職業人や市民リーダーが手を組み、それぞれのスキルや経験を生かす場がロータリーです。

「アイデアを広げる」

- ロータリーでは、例会、大会、プロジェクト、交流行事を通じて、多様な視点や経験を持つ人びとと出会い、友情をはぐくむことができます。
- 「職業のスキルや知識を社会のために役立てたい」という熱意をもつ人が集まるのがロータリーです。ロータリーに参加する方法はさまざまです。あなたも自分を生かせる活動に加わりませんか。

「行動する」

- ロータリーは、世界各地で奉仕プロジェクトを実施し、よりよい地域社会づくりをめざしています。
- きれいな水の提供、識字教育など、ロータリークラブは世界中の地域社会に貢献するための奉仕活動を行っています。

ロータリーで私たちは…

- 生涯にわたる友情をはぐくみます。
- 約束を守り抜きます。
- 多様な考え方を取り入れます。
- リーダーシップと職業の専門知識を生かして、地域社会の問題に取り組みます。

メッセージを伝える際には、ロータリーのボイス（賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力）も伝わるよう注意しましょう。

ロータリーについて説明するときは、簡潔にロータリーの魅力を伝え、ロータリー用語（ガバナー、地区、重点分野、ポリオプラスなど）の使用は避けましょう。

ソーシャルメディアを通じた働きかけ

ソーシャルメディアでは、以下のような動画、写真、インフォグラフィックなどのコンテンツに人気が集まります。

- 興味のある分野でのつながりを作り出す
- アイデアやひらめきを与えてくれる
- 目標の達成に役立つ
- 楽しめる

クラブがソーシャルメディアで提供する内容は、地域社会にかかわり、つながりを広げ、楽しみ、行動するクラブの姿を伝えるものであるべきです。会合に関連した内容や例会風景は最低限に抑えましょう。ソーシャルメディアで地元のグループをフォローすることで、地域社会のニーズを把握し、奉仕のパートナーを探することができます。

ロータリーの標章を正しく使う

ロータリーの公式ロゴは、ロータリーという組織、そして全世界の地域社会で活動する会員を象徴するものです。公式ロゴに加え、ロータリーの標章（「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドとロータリー章典を参照）は、国際ロータリーが知的所有権を有しています。

ロータリーの標章を複製する際は、「ボイス」とビジュアルアイデンティティのガイドとロータリー章典（第33条）をご確認ください。ロータリー、ローターアクト、その他のロータリープログラムに使用するロゴは[ブランドリソースセンター](#)からダウンロードできます。



名称のガイドライン

プロジェクト、活動、プログラム、ウェブサイト、出版物の名称として、「ロータリー」という言葉を単独で使うことはできません。必ず、ロータリークラブやロータリー組織の名前を併記してください。例えば、プロジェクトの名称にクラブの名前を追加することもできます。正しい使用例：

- ロータリークラブ清掃プロジェクト
- ロータリークラブ記念公園
- www.xxxcityrotaryclub.org

クラブの通信物や活動関係資料では、必ず、クラブ名入り公式ロゴをご使用ください。クラブ名入りロゴは、ブランドリソースセンターで簡単に作ることができます。クラブのプロジェクト名称に関する詳しいガイドラインは、ロータリー章典をご参照ください。もしくは、クラブ・地区支援担当室職員にお問い合わせください。



募金活動でロータリー標章を使う場合

ロータリー標章入り商品の販売、クラブ管理システムやその他のオンラインツールの提供を許可された業者は、世界に160近くあります。これらの業者と連絡を取るためには、[My ROTARYの免許取得業者名簿](#)や[ROTARYマーケットプレイス](#)をご参照ください。ロータリー標章入りの商品の製造と販売を行うことができるのは、免許取得業者のみです。

クラブが募金を目的としてロータリー標章入り商品の販売を希望する場合は、以下の内容が入った商品をロータリー公式の免許取得業者から購入し、期間限定で販売することができます。

- クラブ名とクラブ名入りロゴ
- 募金プロジェクトまたは行事名
- プロジェクトの実施日

販売と募金活動が長期にわたる場合は、国際ロータリーから免許を取得する必要があります。免許を取得していない業者からの商品購入を希望する場合には、その業者がロータリー標章の使用許可を国際ロータリーから直接取得する必要があります。商品へのロータリー標章の使用についての質問は、rilicensingservices@rotary.orgまでお寄せください。

考えてみよう

「ロータリーとは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。

クラブのスポークスパーソンとしての役割に、どのように備えますか。

ロータリーへの理解を促進するために、どのような新しいアプローチを試みますか。

プロジェクトの ライフサイクルキット



MY ROTARYの「フォーラム」
ロータリー アイデア応援サイト
ロータリーショーケース



WWW.ROTARY.ORG/MYROTARY/JA

第7章

ロータリー財団



ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。ロータリー財団へのご寄付が、世界中の人びとの暮らしを変えるための力となります。

ロータリー財団は、地元の奉仕プロジェクトから世界的な取り組みまで、さまざまな人道的活動への資金提供に関与しています。さらに財団は、クラブと地区にプロジェクト参加のための補助金や奨学金を提供し、ポリオ撲滅や平和の推進といったグローバルな取り組みを展開しています。

財団活動に参加するメリットは、奨学金を提供したり、職業研修チーム (VTT) を派遣することに留まりません。財団活動をきっかけにロータリーを知った人が入会することや、ロータリーが地域社会や世界にもたらす恩恵を見て心を動かされ、それまで以上に積極的になる会員も少なくありません。このような活動への共感が、さらなる参加や寄付につながる可能性があります。

あなたの役割:ロータリー財団

会長エレクトとして	会長として
ロータリー財団委員会を任命し、会合を開く	ロータリークラブ・セントラルで定期的に寄付傾向を確認する
ロータリークラブ・セントラルで財団活動へのクラブの参加状況を確認する	クラブのロータリー補助金への参加資格を確実に維持する
ロータリークラブ・セントラルで寄付傾向を確認する	クラブの覚書 (MOU) を読み、これを承認し、規定を実践する
会長とともにクラブの覚書 (MOU) を読み、これを承認する	進行中の補助金の報告書を期日内に提出する

会長エレクトとして	会長として
就任前に、寄付とプログラム参加に関する目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する	
ロータリー財団委員会と協力して、補助金の参加資格要件を満たす	

会長、幹事、会計、ロータリー財団委員長は、クラブの寄付状況をMy ROTARYでご確認いただけます。

クラブが立てた財団目標を目指して、一步一步、着実な進展を遂げることが大切です。以下のような方法で、会員からの協力を得ることを心がけましょう。

- 財団への寄付をお願いする（まずは声をかける。まだ一度も寄付をしたことがない会員に注目する）
- 財団への寄付をした会員に感謝の意を伝え、累積寄付がポール・ハリス・フェローやメジャードナー（大口寄付者）などの水準に達した会員を表彰する
- 補助金活動への参加や貢献に感謝する
- 補助金資金が適切に管理されるよう監督する
- 自ら率先して寄付を行う

ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会の構成は、クラブの財団目標に基づいて決定してください。例えば、グローバル補助金を申請するクラブは、補助金小委員会を設けるとよいでしょう。事情に応じて委員会構成と責務を検討し、クラブ細則に盛り込みましょう（補遺1をご参照ください）。委員には、コミュニケーションが上手く、地元または海外でのボランティア経験がある人が適しているでしょう。補助金／プログラムへの参加経験がある人も適役です。

委員会の主な責務

- 財団支援へのモチベーションを高めるような例会プログラムを企画する（感動的なスピーチ、映像など）
- 学友やボランティアを例会に招き、財団と関連した経験談を語ってもらう
- クラブの財団寄付目標の達成に向けた活動に当たる
- 財団について会員に教育する
- 補助金／プログラムへの参加、財団への寄付を奨励する
- ロータリー財団管理委員会が定めた目標、地区が定めた財団目標を会員に伝える
- 補助金の資金管理を徹底させる

詳しくは、[ラーニングセンター](#)の「クラブ・ロータリー財団委員会の基本情報」コースをご参照ください。

地区からの支援

財団関連の活動について、地区や国際奉仕委員会からのサポートを得ることもできます。地区内の複数クラブが合同で活動したり、地区プロジェクトに参加するなど、地区とどのように協力できるかがバナーやガバナー補佐に相談してみるとよいでしょう。財団プログラムへの参加方法については、[ロータリー財団参照ガイド](#)をご参照ください。

地区ロータリー財団セミナー

地区主催のロータリー財団セミナーでは、財団の使命、プログラム、補助金、ファンディング（寄付推進）について学ぶことができます。クラブの会長やロータリー財団委員、財団に関心のあるロータリアンの出席が奨励されています。

補助金管理セミナー

ロータリー補助金の手続き、資金管理の方法、クラブ覚書（MOU）の実践方法についての研修です。補助金の参加資格認定を受けるには、このセミナーにクラブから少なくとも1名の代表者が出席することが条件となります。詳しくは[グローバル補助金ガイド](#)をご参照ください。

補助金を適切に管理するための「参加資格」

補助金を倫理的かつ適切に管理する体制がクラブに整っていることを確認するため、財団は、補助金の参加資格を設けています。クラブが補助金を申請する前に、この参加資格認定を受けている必要があります（クラブの資格認定は地区が行います）。グローバル補助金の参加資格としてロータリー財団が定める2つの最低要件は以下の通りです。

- クラブ会長エレクト（または指名されたクラブ代表者）が地区補助金管理セミナーに出席する
- クラブ会長と会長エレクトが、[クラブの覚書（MOU）](#)に代表として署名する

これに加え、地区が独自の要件を設けている場合があります。

財団の資金モデル

ロータリー財団への寄付は補助金に生まれ変わり、人びとの生活向上や地域社会の発展のために生かされます。財団管理委員会は、世界のロータリアンが財団補助金とプログラムに関する意思決定に関与するための支援を行っています。

寄付が「シェア」を通じて地区財団活動資金（DDF）に

地区内の全クラブから寄せられた年次基金（シェア）への寄付は、毎年度末に次の2つの資金に分けられます。

- 50パーセントが地区財団活動資金（DDF）へ
- 50パーセントが国際財団活動資金（WF）へ

WFは、世界の全地区が参加できる財団プログラムや補助金に使用されます。一方、DDFは、地区が選んだ財団プログラムや補助金に活用されます。地区におけるDDFの配分は、地区ロータリー財団委員会が決定します。詳しくは、地区ロータリー財団委員長にお問い合わせください。

将来において、財団が充分なリソースを確保できるよう、恒久基金の使用可能な収益、年次基金寄付、グローバル補助金への現金拠出の一部は、以下の方法で運営費と運営準備金に充てられます。

- 年次基金寄付の5パーセントを、必要に応じて、運営費または運営準備金に充てる
- グローバル補助金において、提唱者が財団を通して現金拠出する場合、拠出金の5パーセント相当を追加で支払う

財団の資金モデルに関する資料を[ご参照ください](#)。

ロータリー財団への寄付

ロータリー財団の補助金やプログラムは、会員と支援者からの自発的な寄付で支えられています。寄付の理由は人によってさまざまですが、その多くは、教育や人道的支援における財団の使命に共感したことによるものです。寄付を奨励する際には、これを念頭に置くとよいでしょう。年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金、特定のグローバル補助金、ロータリー平和センターなどに寄付先を指定することができます。寄付方法は、My ROTARYからのオンライン寄付と、寄付送金明細書を用いた銀行振込みの2つがあります。

財団寄付の目標をロータリークラブ・セントラルに入力してください。

寄付してくれた会員・支援者への感謝を忘れずに伝えましょう。今後の継続的な寄付には、こうしたフォローアップが大切です。財団の寄付者認証プログラムは、寄付者に感謝を示す方法として最適です。クラブの会長から特別に感謝の意を伝えることで、温かみを感じられます。寄付者が財団支援の寄付を決めたことを快く思い、継続的な支援についても前向きにとらえられるようになるでしょう。

財団全般に関しては、地区ロータリー財団委員長、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、寄付に関しては、恒久基金／大口寄付アドバイザー (EMGA) から情報やアドバイスを得ることができます。

財団についての知識を深めるためには、ラーニングセンターの「ロータリー財団入門コース」をご参照ください。新会員にもこのコースの受講を推奨しましょう。コースの内容を、財団を紹介する際の補足として使うこともできます。

考えてみよう

ロータリー財団への支援、財団活動への参加を、どのように奨励しますか。

ロータリー財団支援のために、どのような個人的目標を立てていますか。



第8章

プロジェクトをはじめよう



ロータリーへの入会理由としての最も多いのが、「社会への貢献」と「親睦」です。奉仕活動を通じて、地域社会に役立つプロジェクトを行いながら、会員同士、さらに地元の人たちとの交流を深めることができ、まさに社会貢献と親睦の両方が実現できます。

地域社会の課題やニーズを把握した上で、会員が経験や知識、才能を生かしながら、地域社会と協力できるプロジェクトを計画しましょう。プロジェクトを通じて会員の参加の機会が増えるとともに、地域でのロータリーの貢献について多くの人に知ってもらうことができます。

あなたの役割：奉仕

会長エレクトとして	会長として
奉仕プロジェクト委員会を任命して、会合を開く	ステップに沿ってプロジェクトを実施する（計画の早期段階における専門家への相談、ニーズ調査の実施、計画の精査と実施、評価）
ロータリークラブ・セントラルで、現在のプロジェクトを確認する	クラブが提唱するインターアクト、ローターアクト、ロータリー地域社会共同隊（RCC）を支援する
ロータリークラブ・セントラルで、奉仕目標を立てる	ローターアクター、青少年プログラム参加者、学友とプロジェクトで協力する
奉仕プロジェクト委員会と協力して、現在のプロジェクトを来年度も継続するかどうか決める	クラブでプログラムの方針や青少年保護方針が必ず守られるようにする（補遺6）

奉仕プロジェクト委員会

奉仕プロジェクト委員会の主な目的は、クラブでの奉仕活動を取りまとめることです。委員には、地域社会をよく知り、ボランティア活動の経験がある人が適しているでしょう。

委員会の主な責務

- 地域社会のニーズ調査を行い、最も適切な対処方法を決め、利用可能なリソースを把握する
- ロータリーショーケースを活用して、奉仕活動のアイデアを見つけ、完了したプロジェクトをシェアする
- クラブ、地区、国際ロータリーのリソース（ロータリー アイデア応援サイトやプロジェクトの流れ（ライフサイクル）など）を活用してプロジェクトを計画する
- プロジェクトのアイデアやリソースの特定において地区社会奉仕委員長に相談する
- 地区社会奉仕委員長と協力して、地元の専門家の協力を得る
- クラブ公共イメージ委員会と協力して、プロジェクトの広報や推進にあたる
- 全会員のプロジェクト参加を促す
- プロジェクトの評価を行い、その結果を今後のプロジェクトに生かす

詳しくは、ラーニングセンターの「クラブ奉仕委員会の基本情報」コースと奉仕プロジェクトの立案と推進コースをご参照ください。

ロータリーのプログラムを利用する

ロータリーには、人道的活動、国際交流、教育支援など、クラブや地区が参加できるさまざまなプログラムがあります。以下の5つの奉仕部門で、奉仕目標の達成を目指しましょう。

- クラブ奉仕
- 職業奉仕
- 社会奉仕
- 国際奉仕
- 青少年奉仕

ロータリーにおける奉仕の機会については、補遺5をご参照ください。

ロータリープログラムの魅力は、参加を通じて国内外に新しい友人ができ、楽しみながら奉仕できることです。さらに、経験から学びを得ることもできます。会員がみな、個人的に関心を持つプロジェクトに参画することが、クラブ全体の成功に向けて一丸となって努力を続けていく上で大切です。学友、若いリーダー、友人、家族、地元地域のパートナーや同僚にも参加してもらい、クラブのもたらすよい影響を増幅し、地元コミュニティでのロータリーの活動を実地で示しましょう。また、参加者から意見を集め、プロジェクトの改善に活かすこともできます。

プロジェクトの開始にあたっては、参考として、各分野でのプロジェクト例が記載されたロータリーの重点分野ガイドをご参照ください。ラーニングセンターの「ロータリーの重点分野」コースもご参照ください。

アイデアがまとまったら、最初にMy ROTARYの地域調査の方法を使い、さらにプロジェクトに関する資料を確認してみましょう。

ロータリーの補助金とプログラム

ロータリーでは、世界中のロータリー会員によるさまざまなプロジェクト、奨学金や職業研修の機会を支援する補助金を提供しています。

地区補助金

地区補助金は、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動へ資金を提供するものです。人道支援プロジェクト、奨学金、職業研修チームなどの活動がこれに含まれます。

グローバル補助金

グローバル補助金は、長期にわたる国際的な活動を支援します。ロータリーの重点分野において、持続可能かつ測定可能な成果を挙げることが条件です。この補助金は、国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、大学／大学院レベルの奨学金に利用できます。グローバル補助金に参加するには、海外のパートナーを見つける必要があります。パートナー探しには以下のような方法があります。

- [ロータリーのアイデア応援サイト](#)を検索して協力クラブを探す
- [ロータリーのアイデア応援サイト](#)にアイデアを投稿してパートナーを募る
- [地区国際奉仕委員長](#)に相談する
- 地区や海外のロータリー行事で知り合いを増やす
- ロータリー主催の[プロジェクトフェア](#)に参加する
- クラブがスポンサーとなっているローターアクトクラブと協力する
- [フォーラム](#)やソーシャルネットワーキングサイトでロータリーの他のメンバーとつながる

人道的プロジェクトや職業研修チームのために補助金を申請するクラブや地区は、最初に地域調査を行う必要があります。対象地域の強みや弱み、ニーズや資源を調査することが、大きな影響力をもつプロジェクトを生む上では欠かせません。地域社会のための意思決定に地域住民を巻き込み、長期にわたる地域社会の改善につながる取り組みへ参加してもらうことにもつながります。何よりも重要なのは、地域調査による情報に裏付けられたプロジェクトは、持続可能なものとなるという点です。

地域調査の実施に際しては、地区補助金を使うことができます。ロータリーの地域調査の方法では、地域社会での会合、アンケート、インタビューやフォーカスグループ（座談会）のヒントをはじめ、地域資源やニーズを測るためのアイデアや方法が見つかります。

[ラーニングセンター](#)の「グローバル補助金の立案」コースを受講して、グローバル補助金プロジェクトの立案についての知識を深めましょう。グローバル補助金の申請は[補助金センター](#)から行います。

ロータリー平和センター

ロータリー平和フェロープログラムは、世界的規模の取り組みです。ロータリー財団では、ロータリー平和フェローシップという形で、世界の6つのロータリー平和センターで平和と紛争解決／紛争予防に関連する幅広い分野について学ぶ修士号コースと、これらの分野で専門能力を磨くための修了証取得コースを提供しています。

平和フェローシップの応募プロセスは、地区補助金やグローバル補助金とは異なります。地区は、資格ある候補者を何人でも推薦できます。

フェロー候補者を決定したら、フェローシップの資格要件を候補者と確認し、申請を支援し、面接を行います。候補者の地区への申請提出締切日は5月31日となります。地区選考委員会が資格を満たした候補者全員と面接し、推薦する候補者の申請を7月1日までにロータリー財団へ提出します。手続きについての詳細は[ロータリー平和センタープログラム：ロータリアンのための手引き](#)をご参照ください。

平和フェローシップ支援のためにクラブができること：

- ロータリー平和フェロー（または元フェロー）にクラブで体験談を話してもらう
- フェローシップ候補者を地区に対して推薦する
- フェロー受入れを支援したり、カウンセラー役を務める（クラブの近隣にロータリー平和センターがある場合）

若いリーダーを育てるロータリーのプログラム

インターアクト、ロータリー青少年交換、RYLAといったプログラムを通じて、若者のリーダーシップスキルを伸ばし、奉仕活動への関心を育むことができます。またローターアクトを通じて、若い職業人や大学生に働きかけることもできます。ローターアクトは、こうした若者がリーダーシップを発揮し、ロータリアンとともに地域社会に貢献できる機会となります。

青少年を対象とするクラブ独自の活動を行う際は、地元にあった活動を実施しましょう。青少年育成などに関わる関連団体と協力することをおすすめします。子どもたちへの読み聞かせ、非行や問題を抱える青少年の指導、大学生の就職相談などの形で意義ある奉仕活動を行うことができます。

活動を始める前に、ロータリー青少年保護の手引きを確認し、活動に携わる人の事前審査と研修を十分に行うことが大切です。会員が補遺6にある青少年との活動におけるガイドラインを理解しておく必要があります。詳しくは[ラーニングセンター](#)のコース、「青少年プログラム参加者の保護」をご参照ください。

考えてみよう

会長として、クラブのプロジェクトをどのように支援できますか。

プロジェクトの計画段階で貴重なリソースとして活躍できる専門知識をもつロータリー会員や学友をどのように特定し、勧誘しますか。

ローターアクター、学友、そのほかの若い職業人に、クラブのプロジェクトにどのように参加してもらえますか。

プロジェクトは、クラブ戦略計画にどのように盛り込まれていますか。

補遺5

ロータリーにおける活動の機会

ロータリーには、以下のような奉仕の機会があります。

ポリオプラス	全世界でのポリオ撲滅を目指すロータリー組織全体のプログラム。
社会奉仕	地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献する活動。
職業奉仕	倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てる。
国際奉仕	国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進。
青少年奉仕	青少年や若い世代の社会人（30歳まで）がリーダーシップの力を伸ばせるよう支援。
新世代交換	30歳までの若者が海外で奉仕活動を行ったり、職業研修を受けるための交換。
インターアクト	12～18歳の青少年が参加する奉仕クラブ。
ロータリー青少年交換	15～19歳の青少年が長期（または短期）に海外に滞在して国際理解と平和を促進するプログラム。
ローターアクト	18～30歳の大学生や若い社会人が参加する奉仕クラブ（地元ロータリークラブが提唱）。
ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）	青少年、大学生、若い社会人がリーダーシップスキルを伸ばすための研修プログラム。
ロータリー地域社会共同隊（RCC）	ロータリー会員以外の地元地域のメンバーが参加し、コミュニティ調査と奉仕プロジェクトの計画と実践を行う奉仕グループ（地元ロータリークラブが提唱）。
ロータリー親睦活動グループ	同じ趣味、余暇活動や職業的関心を持つ世界中のロータリー会員、ローターアクト会員、家族、ロータリープログラム参加者や学友によるグループ。
ロータリー友情交換	ロータリー会員とロータリー会員以外の人々が海外を訪問し、新たな文化や習慣を学び、友好を築くための地区間の国際交換プログラム。交換を通じて将来のプロジェクトパートナーが見つかることもある。
ロータリアン行動グループ（RAG）	世界中のロータリー会員、ローターアクト会員、家族、ロータリープログラム参加者や学友がメンバーとなり、特定の専門分野においてクラブや地区を支援するグループ。
ロータリー平和センター	平和と紛争解決の分野で修士号または専門修了証を取得できる教育プログラム。平和センターで学ぶ学生にフェローシップ（奨学金）を提供。
地区補助金およびグローバル補助金	地元や海外で人道的活動や教育支援を行うクラブや地区が利用できる資金支援。

補遺6

青少年プログラムにおけるリスク管理

けが、病気、虐待など、青少年との活動に伴うリスクを理解しておくことが、参加者がこうしたリスクに適切に対処する上で重要です。リスクの理解のみで事故を防ぐことはできませんが、事故やその影響を低減するための思慮ある議論や計画につなげることはできます。青少年との活動におけるリスク管理プログラムを立案する際には、以下を考慮してください。

- 肉体的、性的、精神的な虐待および嫌がらせの発生を予防し、これに対処するための青少年保護方針を地区で立案、導入する。
- プログラム参加者（成人および青少年）の行動規範を確立する。青少年に関わる成人の事前審査を行う。RIBIにおいては、青少年や社会的に脆弱な成人との活動に関わるクラブ会員の英国内無犯罪（Disclosure and Barring Service：DBS）証明書が必要となる可能性があります。詳しくはCDS@rotarygb.orgにお問い合わせください。
- 青少年の旅行に関する明確な方針を立案・順守し、親または保護者に特定の情報を伝達する仕組みを整備する。
- 地元地域外での開催または宿泊を伴う活動については、ガバナーの承認を得る。
- 地区の方針が、RI理事会が各プログラムごとに定めた方針に沿ったものとなるようにする。
- 青少年プログラムやイベント開催におけるリスクと保険加入の必要性を検討する。以下の点をあらかじめ決めておく：
 - けが人が出た場合、どのように対応するか？
 - 自然災害が起こった場合、どのように対応するか？
- リスクを最小限に抑えるために
 - 十分な賠償責任保険に加入しておく
 - 災害非常時の対応を考え、プログラム中に少なくとも1回予行演習や避難訓練を行う
 - 青少年にとって安全な環境をつくるためのふるまいについて、参加者に説明・研修する

これらの手順は、地区が青少年交換の認定を取得する上で必要となるものですが、インターアクト、RYLAやその他の青少年活動に参加する地区にも推奨されます。

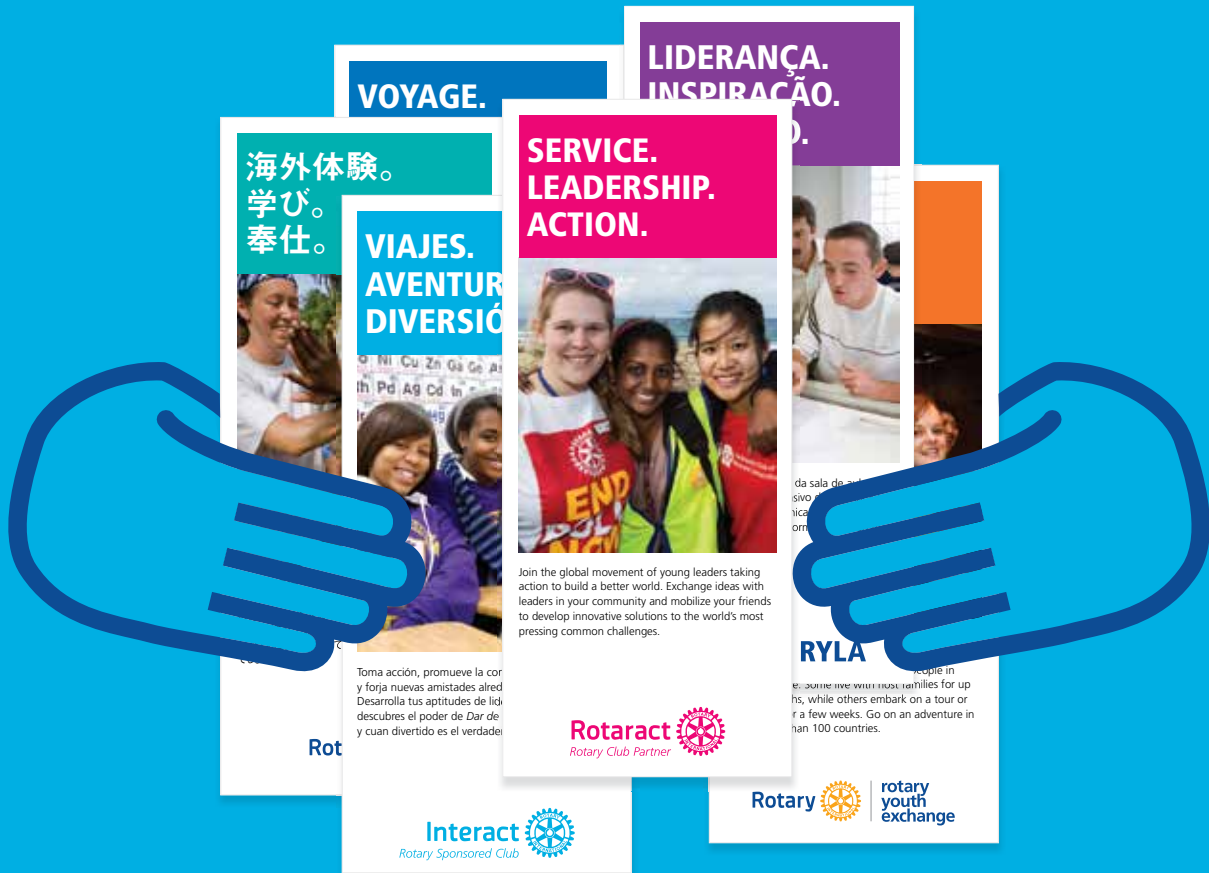
地元の保険専門家や代理店に相談し、保険契約が青少年プログラムに対する適切な補償を提供するものであることを必ず確認してください。複数の地区やクラブが提唱するプログラムでは、それぞれの補償内容が異なる場合があるため、保険に関する事項が複雑化することがあります。参加者（青少年と主催者を含む）は、加入中の健康保険と生命保険で十分な補償が得られることを証明する必要があります。国によって、健康保険の多くは海外旅行／海外滞在中の補償範囲が限られるため、参加者が地元外を旅行・訪問する場合にはこうした事前の備えが特に重要です。こうした場合には、参加者は以下の補償がある旅行保険に加入する必要があります。

- 医療費の支払い
- 遺体の本国送還
- 緊急避難
- 事故死と四肢切断

また、クラブがほかの団体、業者やサービス提供者と契約を結ぶ場合は、事前に弁護士と相談しましょう。このような契約には、免責、補償や損失肩代わりの契約が含まれていることがあり、当事者の責任を免除し、クラブや地区にその責任が転嫁される場合があります。国際ロータリーは、参加者、ボランティア参加者および主催者のいかなる疾病もしくはけが、または物的損害に対しても一切責任を負いません。



CREATE. SHARE. CONNECT.



Create your own promotional cards to showcase your youth activities.
Available now in Rotary's Brand Center.



もっと効果的にクラブの目標を
設定したいクラブの皆さんへ



ロータリークラブ・セントラルを
ご利用ください



はじめよう : [ROTARY.ORG/MYROTARY/JA](https://rotary.org/myrotary/ja)



One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
[Rotary.org](https://rotary.org)

222-JA-(518)